

**令和 8 年度
第11回（仮称）下井草まちづくりラボ**

旧早稲田通りの安全化について

**令和 8 年 6 月 2 0 日（土）
杉並区市街地整備課鉄道立体係**



本日の流れ

- 1 開会
- 2 令和8年度（仮称）下井草まちづくりラボについて
- 3 旧早稲田通りの安全化について
「サブラボ 下井草未来想像チーム」による発表
- 4 歩きやすい旧早稲田通りを考える
(グループワーク)
- 5 グループワーク成果発表
- 6 次回のスケジュール
- 7 区からのお知らせ
- 8 閉会



1

開会



学識経験者

日本大学理工学部土木工学科 教授

関 文夫

コンサルタント

株式会社GENプランニング 奥村 玄



杉並区

鉄道立体担当課長 塚田 千賀子

鉄道立体係長 諸岡 健

担当 井家 睦

担当 市瀬 友太

担当 菅原 靖広

担当 高橋 龍也

担当 山口 翔太

アドバイザー



土木設計家
土木技術者（技術士・工学博士）

日本大学理工学部土木工学科 教授

関 文 夫 先生

<経歴>

1985 年 4 月 大成建設株式会社入社：橋梁を中心に設計と現場を往来した後、環境に配慮した土木デザインを展開する

2011 年 3 月 大成建設株式会社退職

2011 年 4 月 日本大学理工学部土木工学科教授：現在に至る

<専門>

- ・土木デザイン 橋、トンネル、高速道路、河川、街路、公園、駅前広場、スポーツ施設などの設計
- ・構造システム 構造解析、構造システム、耐震設計、維持管理
- ・土木史 土木技術史、土木設計史。江戸土木史
- ・まちづくり まちづくり、活性化、限界集落 ppp、水力発電
- ・森づくり 生物多様性、カーボン FIX, 環境教育
- ・災害救助 救助訓練施設設計、訓練プログラム、災害教育

ファシリテーター 株式会社 GEN プランニング 代表

奥村 玄 さん



技術士 一級建築士

登録ランドスケープアーキテクト

地域再生マネージャー

(地域総合整備財団)

<経歴>

- ◆2007 年～ 2010 年和歌山県高野町地域再生マネージャー派遣
- ◆2014 年～現在小田急線（東北沢～下北沢～世田谷代田）上部および周辺のまちづくり
- ◆2015 年鎌倉市津波避難実施計画策定市民会議企画運営
- ◆2016 年～2022 年草加松原児童センター基本構想・運営計画企画支援（早稲田大学卯月研究室）

<専門>

- ・市民参加多様な分野における市民参加のコーディネートワークショップ企画運営
- ・地域計画地域再生中心市街地活性化地域福祉計画地域交通計画
- ・建築計画公共施設計画古民家再生計画
- ・都市デザインプロムナード計画設計景観計画
- ・ランドスケープ計画公園計画設計河川環境計画
- ・防災計画震災・水害等復興計画津波避難計画

2

令和8年度（仮称） 下井草まちづくりラボについて

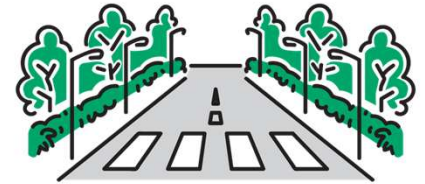


令和8年度（仮称）下井草まちづくりラボのスケジュール

第11回（仮称）下井草まちづくりラボ

日時：令和8年6月20日（土） 午前9時～12時

テーマ：「旧早稲田通りの安全化」



第12回（仮称）下井草まちづくりラボ

日時：令和8年9月19日（土） 午前9時～12時

テーマ：「下井草駅周辺の商業やにぎわいについて①」



第13回（仮称）下井草まちづくりラボ

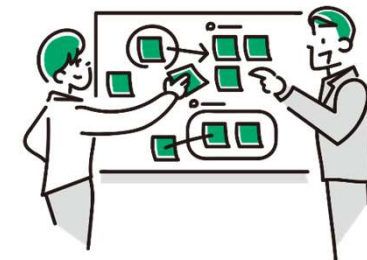
日時：令和8年10月24日（土） 午前9時～12時

テーマ：「下井草駅周辺の商業やにぎわいについて②」

第14回（仮称）下井草まちづくりラボ

日時：令和9年1月16日（土） 午前9時～12時

テーマ：「これまでのまとめ」



※会場はいずれも桃井第五小学校体育館

（仮称）下井草まちづくりラボとは？

課題や疑問を掘り下げ
学び、研究し
まちの将来像を考える場



この取り組みの区の目的は？

上位計画の位置付け



令和5年9月改定

杉並区まちづくり基本方針
(都市計画マスタープラン)

将来都市像

地域別方針

ささえあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

井草地域

西荻地域

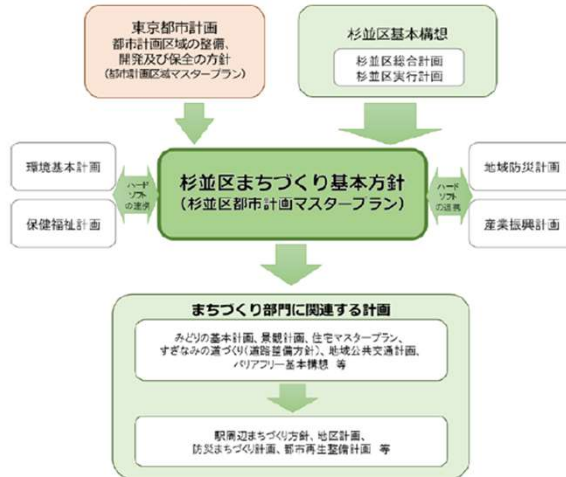
荻窪地域

阿佐谷地域

高円寺地域

高井戸地域

方南・和泉地域



まちづくり基本方針の位置付け

分野別方針

安全で円滑な移動を実現する
交通体系の形成
交通結節点機能の強化
交通ネットワークの形成

生活のしやすい、適正な
土地・建物利用の誘導
駅周辺の拠点形成
適正な土地利用の誘導

誰もが住みやすい
良好な住環境の保全
みどりの保全・育成
防災・防犯まちづくり

西武新宿線沿線各駅
周辺地区まちづくり方針

- ・下井草駅周辺地区
- ・井荻駅周辺地区
- ・上井草駅周辺地区

平成28年2月策定



下井草駅周辺地区まちづくり計画の策定

下井草駅周辺まちづくり活動の背景

連続立体交差事業とは？

市街地において道路と交差している鉄道を一定区間連続して
高架化又は地下化することで立体化を行い多数の**踏切の除却**や
新設交差道路との立体交差を一挙に実現する**都市計画事業**

【効果 1】 **人と車の流れをスムーズに**



京成押上線(京成曳舟駅付近) 明治通り



【効果 2】 **高架下などの有効利用**



高架下利用事例(保育所)

【利用事例: 保育所の場合】

これまでに、**約1,000人分**の定員を確保！

利用者、運営者の声

- 駅に近く、アクセスが良いため、通勤時に子供を預けやすい
- 保育士の通勤も便利であるため、保育士確保の面でも優位
- 雨の日も園庭が利用できる

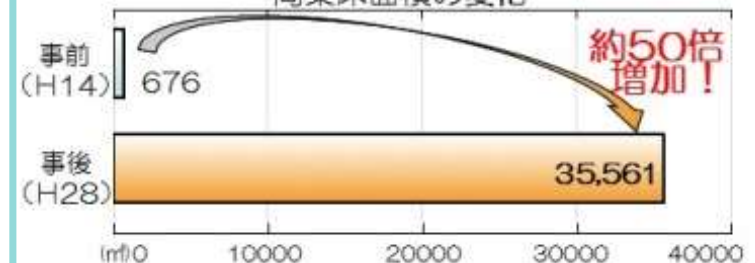
出典：東京都建設局連続立体交差事業（連立事業）ポータルサイト

【効果 3】 **まちの活性化**



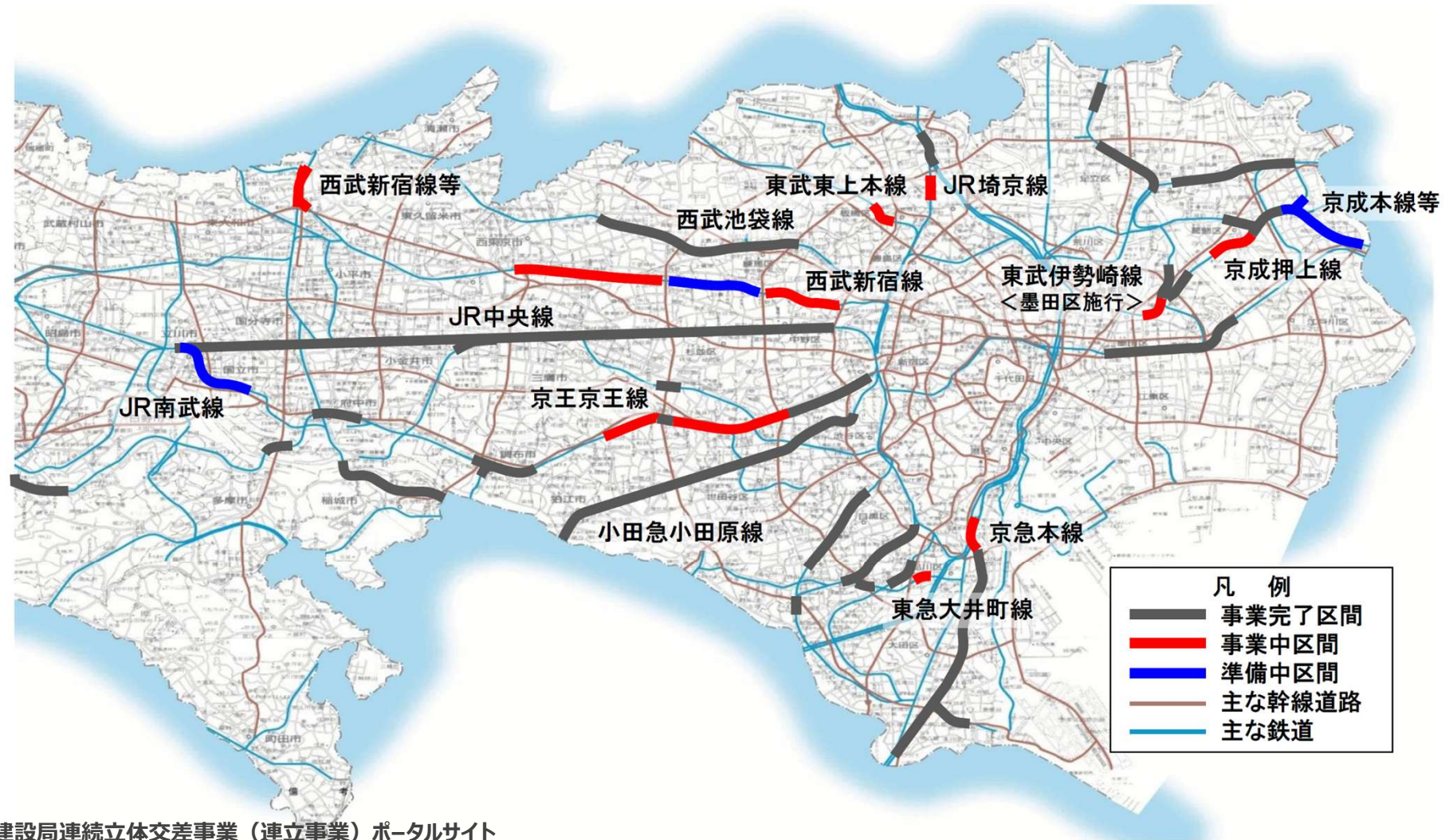
京成押上線(京成曳舟駅付近)

【京成押上線(京成曳舟駅付近)
商業床面積の変化】



下井草駅周辺まちづくり活動の背景

東京都内の事業箇所

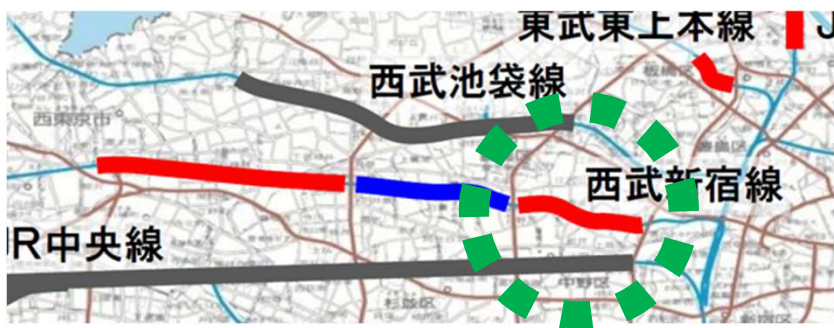


出典：東京都建設局連続立体交差事業（連立事業）ポータルサイト

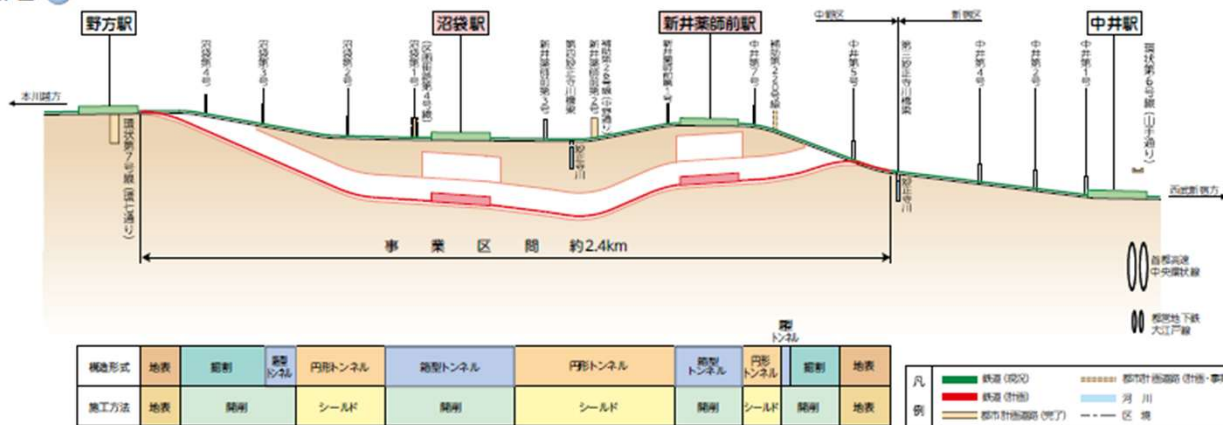
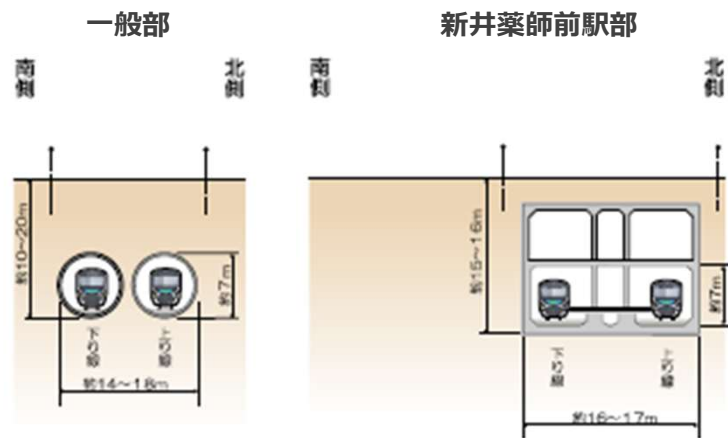
西武新宿線（中井駅～野方駅間）

路線名	箇所	事業延長	都市計画決定	事業期間	構造形式	踏切除却数	施行者
西武新宿線	中井～野方	約2.4 k m	H23.8.19	H25～R16	地下方式	7箇所	東京都

● 平面图 ●



● 縦断図 ●

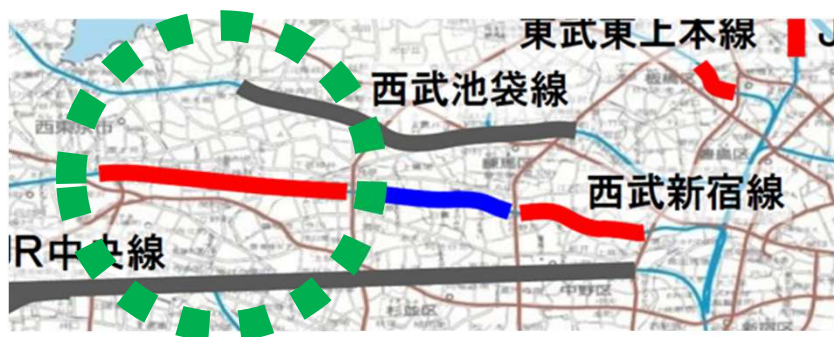


出典：事業パンフレット西武鉄道新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差事業の概要

下井草駅周辺まちづくり活動の背景

西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）

路線名	箇所	事業延長	都市計画決定	事業期間	構造形式	踏切除却数	施行者
西武新宿線	井荻～西武柳沢	約5.1 km	R3.11.26	R6～R22	高架方式	19箇所	東京都



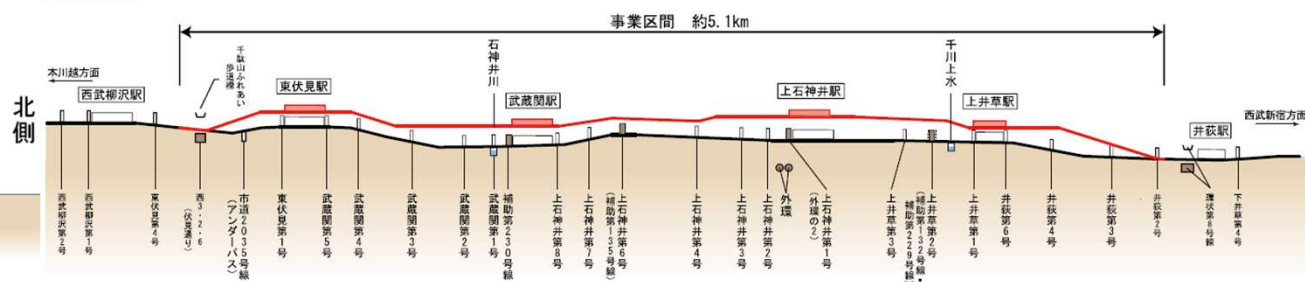
平面図



※この地図は、東京都地図1/2,500地形図を使用（7都市圏交差1277号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
この地図の著作権は、東京都及び株式会社ミッドマップ東京に帰属する。
この図面は、令和5年に実施した航空測量をもとに作成しているため、現地の土地利用が反映されていない場合があります。
（承認番号）4都市基盤第83号、令和4年6月7日

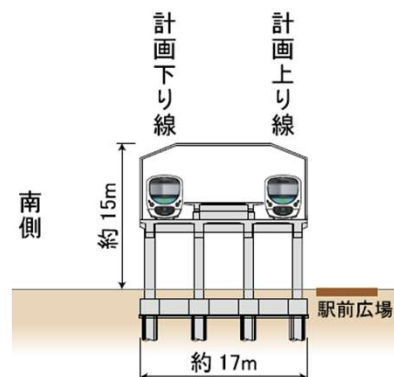
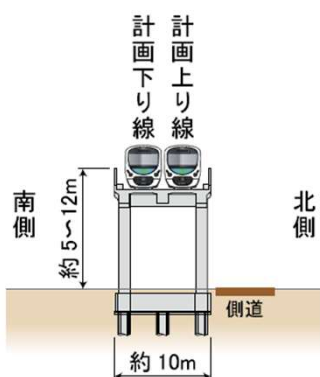
凡例		鉄道（計画線）		都市計画道路（事業中・完了）		工事で使用する可能性がある範囲
		鉄道（現在線）		都市計画道路（計画）		河川等
		鉄道付属道路 ・特殊道路		区画街路		区界

縦断面図



一般部

上井草駅部

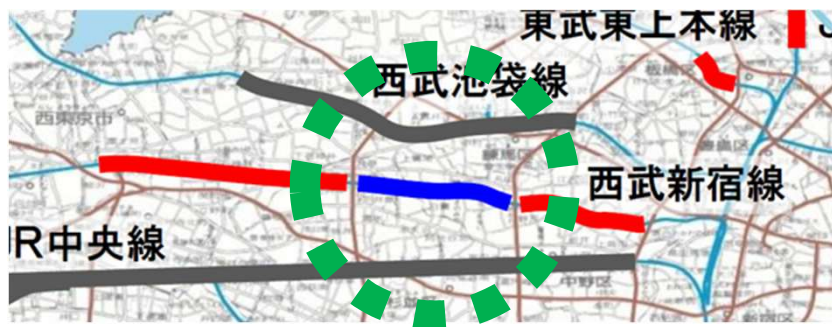


出典：事業パンフレット西武鉄道新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業等について

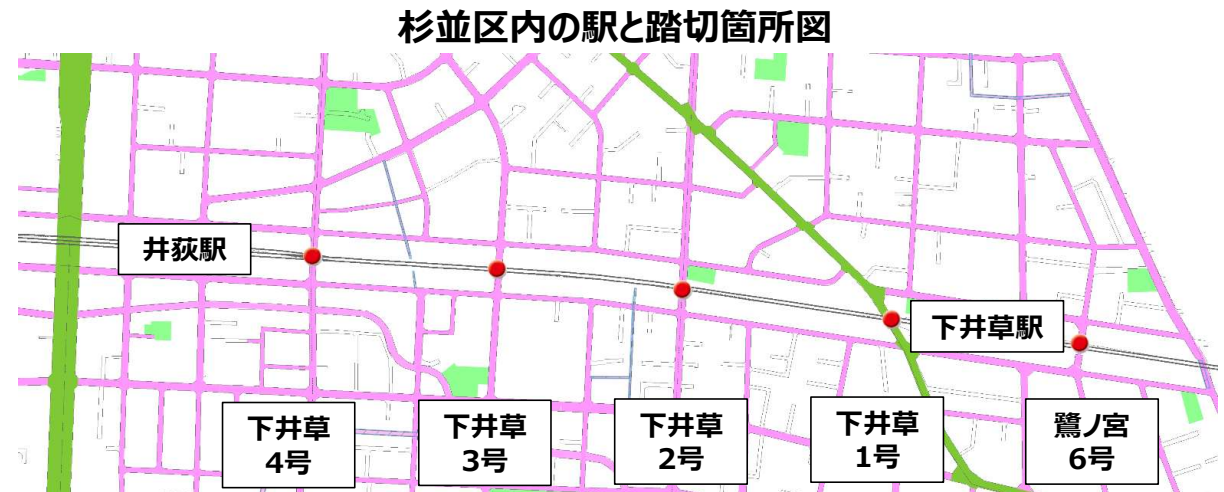
下井草駅周辺まちづくり活動の背景

西武新宿線（野方駅～井荻駅付近間）

路線名	箇所	事業延長	都市計画決定	事業期間	構造形式	踏切除却数	施行者
西武新宿線	野方～井荻	約3.1 k m	—	—	検討中	13箇所	東京都



出典：東京都建設局連続立体交差事業（連立事業）ポータルサイト



下井草駅を含む（野方駅～井荻駅間）区間は準備中区間
現在、高架化や地下化などの構造形式や施工方法について検討中



道路と鉄道の連続立体交差化を見据え
課題解決に向けた、まちづくりの検討を進めます

下井草駅周辺まちづくり活動の背景

【令和4・5年度】 方向性の整理

目的：道路・交通に関する課題解決を目指す

《整備目標【3つの柱】（たたき台No.2）》《整備計画図（たたき台No.2）》

1. コンパクトな交通結節点機能の強化

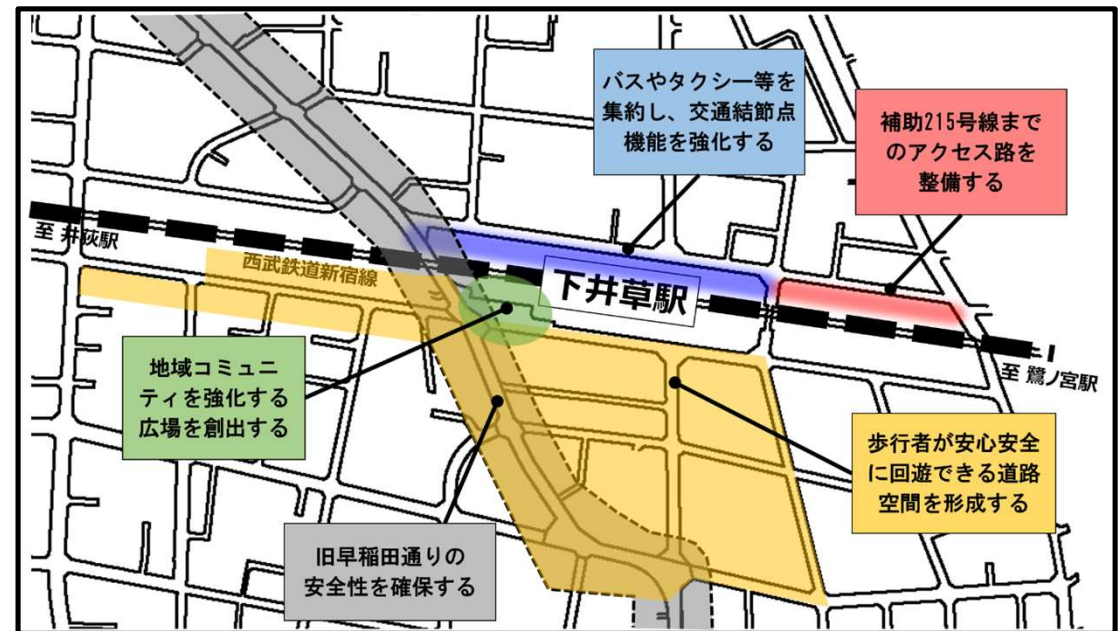
- ・駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗り換え利便性の向上を図る
- ・新しいモビリティの導入を図る

2. 歩行者の安全性の確保

- ・車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する
- ・誰もが安心して快適に利用できるよう歩行者空間のユニバーサルデザインを導入する

3. みどり豊かにぎわい空間の創出 （集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- ・様々な人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する
- ・にぎわいを演出するみどりの空間を形成する



※詳細は会場内パネルをご確認ください、ご希望の方には資料をお渡しいたします

下井草駅周辺まちづくり活動の背景

【令和6年度】 まちを知る・共有する

目的：下井草駅周辺のまちの将来像の研究

《第6回（仮称）下井草駅まちづくりラボの成果》

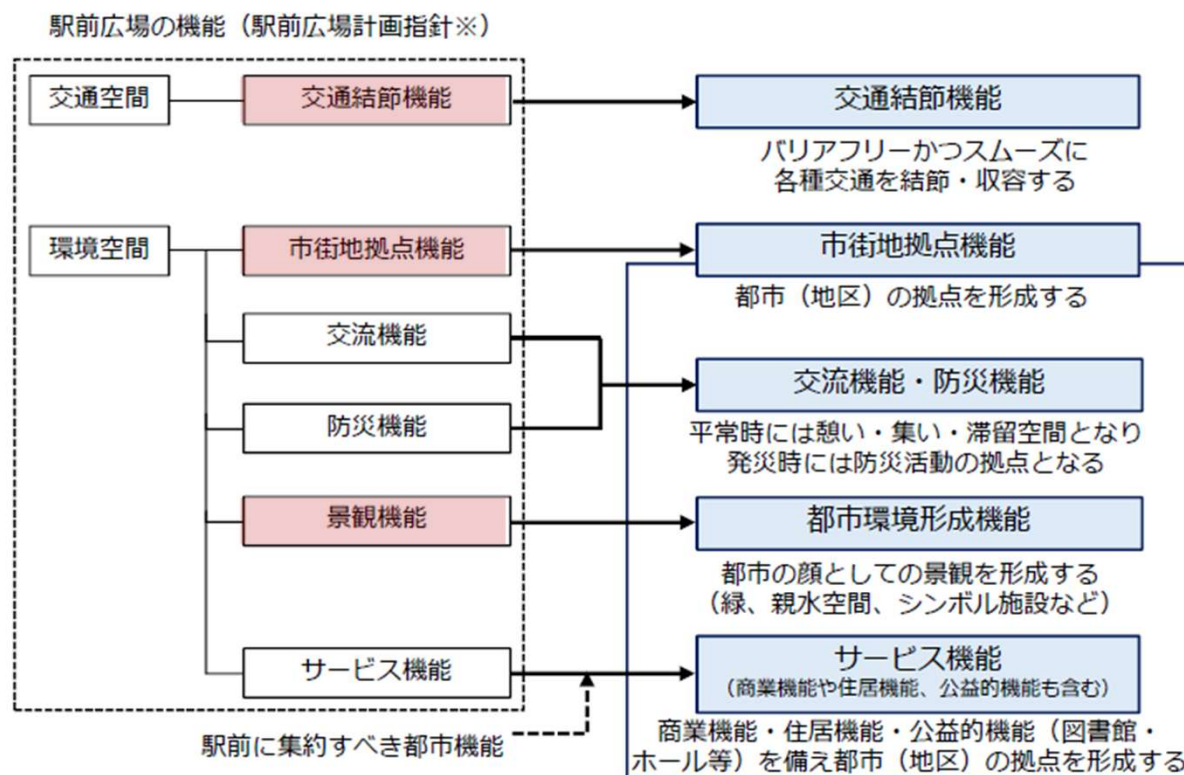
つぎの関心ごとが整理されました

- A 歩行者目線で安全なみちづくり
- B 便利で安全な交通結節点の実現
- C みどりをきっかけとして、時代、みどり、生き物をつなぐまちづくり
- D たくさんの個人が関わって、にぎわいのあるまちに
- E 線路跡地の活用に可能性を広げたい

※詳細は会場内パネルをご確認ください、ご希望の方には資料をお渡しいたします

下井草駅周辺まちづくり活動の背景【令和7年度】3つの視点で具体的検討へ①

目的：テーマ別まちづくりの方向性の検討①



※駅前広場計画指針：建設省都市局都市交通調査室監修
社団法人日本交通計画協会編集 平成10年

出典：国土交通省都市局街路交通施設課

※詳細は会場内パネルをご確認ください、ご希望の方には資料をお渡しいたします

駅まち再構築の視点

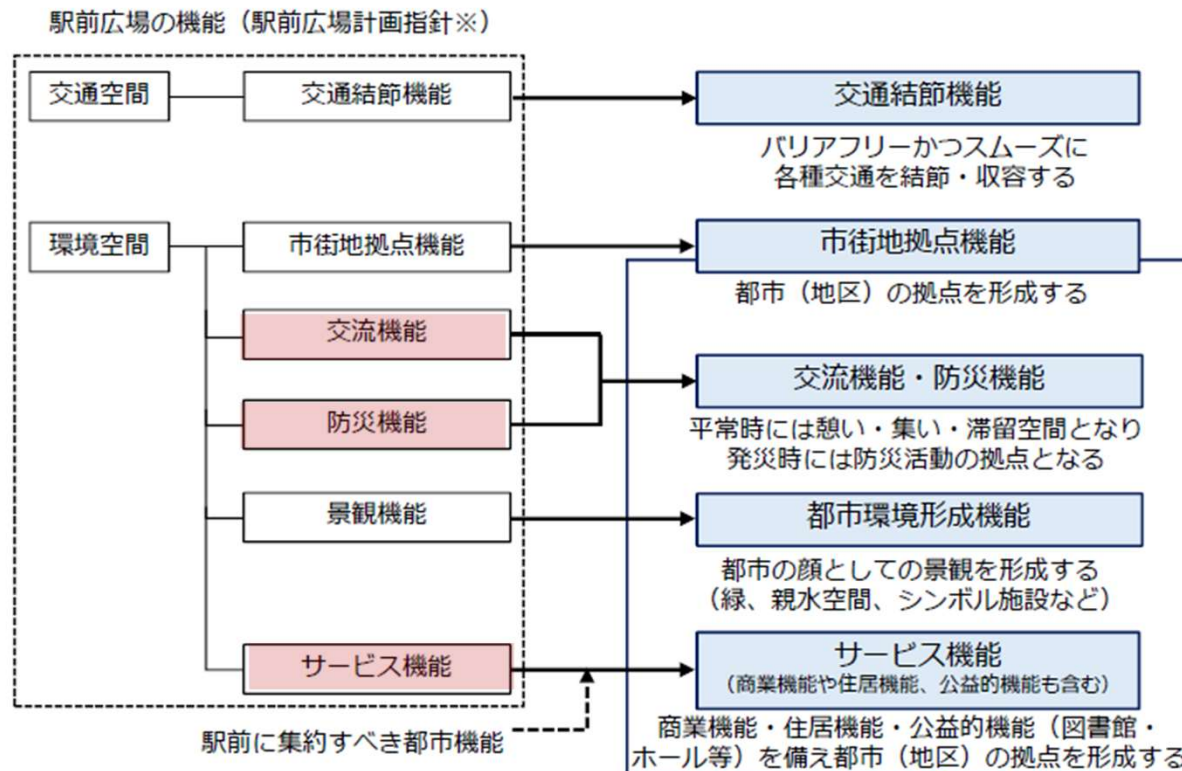
- 交通結節機能
- 市街地拠点機能
- ・ 旧早稻田通りの安全化
- ・ 駅前広場・交通結節点のあり方
- 景観機能
- ・ みどりと景観



これらの3つの視点で議論

下井草駅周辺まちづくり活動の背景【令和8年度】3つの視点で具体的検討へ②

目的：テーマ別まちづくりの方向性の検討②



駅まち再構築の視点

- 交流機能
- 防災機能
- サービス機能
- ・ 商業やにぎわい



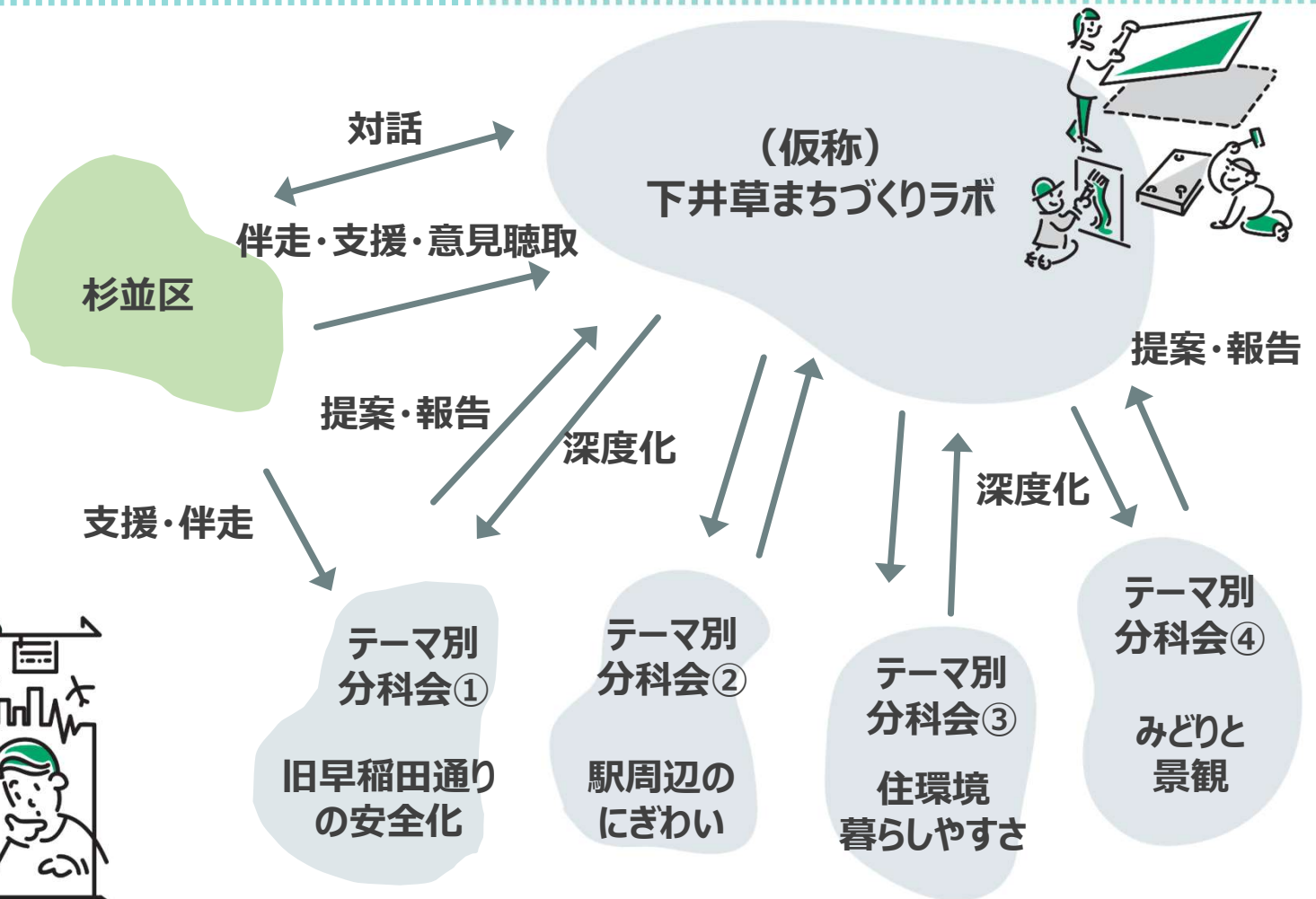
これらの3つの視点で議論

出典：国土交通省都市局街路交通施設課

※詳細は会場内パネルをご確認ください、ご希望の方には資料をお渡しいたします

テーマ別の分科会とは？

まちづくりラボから派生
参加者が主体となって
個別具体的な議論や
活動に取り組む場



※分科会のテーマは一例です

3

旧早稲田通りの安全化について

歩きやすい旧早稲田通りを考える

「サブラボ 下井草未来想像チーム」による発表

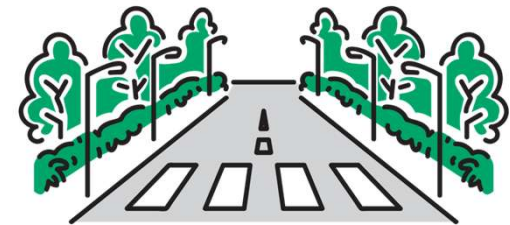


旧早稲田通りとは？

- 現在の道路幅員は、8 mとなっています。
(車道部分 6 m+歩道部分 1 m+1 m)



- 東京都が道路管理者（都道25号）
- 道路拡幅の計画はありません
- 歩道との段差は車のタイヤを止める役割があり
車と歩行者の接触を防ぐ効果があります



歩きやすい旧早稲田通りを考える 一方通行化・歩道拡幅・その他の可能性

サブラボ 下井草未来想像チーム

2026/6/20（仮称）下井草まちづくりラボ発表

旧早稲田通りサブラボ 活動の流れ

**(仮称) 下井草まちづくりラボ (以後、本ラボ) 第7回テーマ
「旧早稲田通りの安全化」グループワークを受けて、
さらに検討を重ね、具体的に活動する場として結成**

(2025/9/27 桃井第五小学校体育館)

■ 第1回：旧早稲田通りの安全化を考える

(2025/10/5 八成区民集会所)

■ 第2回：現状困っているヒト・コトの課題洗い出し

(2025/11/2 井草地域区民センター)

■ 第3回：一方通行化の可能性を考える

(2025/12/21、桃井第五小学校開放会議室)

■ 第4回：旧早稲田通り交通量調査読み解き

(2026/1/25, 桃井第五小学校開放会議室)

■ 第5回：どうやったら、歩きやすい旧早稲田通りになるか

(2026/3/1, 井草地域区民センター)

■ 第6回：本ラボへのフィードバック内容と今後の展開

(2026/5/24, 井草地域区民センター)

■ 第1回の成果・確認事項

- ・ 歩道を広げて歩きやすくするには、一方通行化が良さそう
- ・ 一方通行化は近隣住民の一致した声と、利害関係者の合意が必要

■ 第2回の成果・確認事項

- ・ 旧早稲田通りの時間帯・曜日別使われ方のイメージをまとめてみよう
- ・ 有志で下見をしてみよう (11/6 朝 7:30-8:15に実施)

■ 第3回の成果・確認事項

- ・ 交通量調査結果は「旧早稲田通りの使われ方把握」に役立ちそう
- ・ パネルを使用したシールアンケートは、面白い取り組みになりそう

■ 第4回の成果・確認事項

- ・ 車両交通量が多い訳ではない、歩行者の往来は日中に多いことを確認
- ・ ビジョンの共有「安全に、歩き回って、買い物が楽しめるまちにしたい」

■ 第5回の成果・確認事項

- ・ 歩きやすい道のイメージ構築と共有
- ・ フラットな路面、歩道幅、電柱や民地の床高さも含めたデザインが重要
- ・ 「歩車分離」と「歩車融合」の考え方提案
- 「歩きやすさ」にも色々な方法がある
- 本ラボで幅広くディスカッションしていきたい

■ 第6回の成果・確認事項

- 本日の発表にてご紹介いたします

旧早稲田通りサブラボ提案 – はじめに「まとめ」から

① 現状認識：問題は「交通量」ではなく「歩きにくさ」

➤ 「生活道路としての歩きやすさ」が課題の中心

② 「歩きやすさ」とは何か

- ・ 歩きやすい＝フラットな路面
- ・ 歩道幅だけでなく、電柱や段差も含めたデザイン
- ・ 「歩車分離」vs「歩車融合」

➤ 一つの正解ではなく、「複数の方法の検討」が必要

③ 解決に向けた方向性

- ・ 歩車分離に限定しない
- ・ 歩車融合も含めた柔軟な設計

サブラボからの提案

「歩きやすさには色々な方法がある」

➤ まちづくりラボ本体で、幅広くディスカッションして行きたい

①のポイント

- ・ 自動車の交通量は多くない
- ・ それでも歩きにくい理由
歩道が狭い ・ 段差 ・ 電柱などの物理的要因
- ・ 人通りのピークは、通勤ラッシュではなく日中
- ・ 高齢者・子連れなど、移動制約者が日中に多い

②のポイント：「歩車分離」vs「歩車融合」

* 歩車分離

→ 安全だが、生活導線や商店街には不便

* 歩車融合

→ 柔軟で生活道路向きだが、安全対策が課題

③ 解決に向けた方向性のポイント

- ・ ハード面
 - 路面のフラット化
 - 電柱など障害物の解消
 - 歩道拡幅や一方通行化の検討
- ・ 設計思想
 - 歩車分離に限定しない
- ・ 旧早稲田通り特有の課題
 - 「バス通り」と「生活道路」の両立

交通量調査資料の読み解き (第3回・第4回サボラボ)

交通量調査資料について

第3回・第4回サブラボの取り組み - 1

- 杉並区より提供いただいた交通量調査結果資料を読み解き、旧早稲田通りの時間帯別の使われ方を「定量的アプローチ」からイメージ構築する
- 具体的には**地点③下井草駅南口**に着目し、下井草駅前を中心とする旧早稲田通りの交通の流れを読み解く。

留意点

- 調査時点はコロナ禍影響が残っており、現在より交通量が少ない可能性がある
- 平日のデータはあるが、土日のデータはない

地点一覧

- ① 旧早稲田通り（Bakeryコムギノホシ前）
- ② 下井草駅南口商店街（西友前）
- ③ 下井草駅南口 旧早稲田通り
- ④ 下井草駅北口 旧早稲田通り
- ⑤ 下井草四丁目交差点
- ⑥ 八区民集会所前 西武新宿線の踏切近く
- ⑦ 井草二丁目交差点

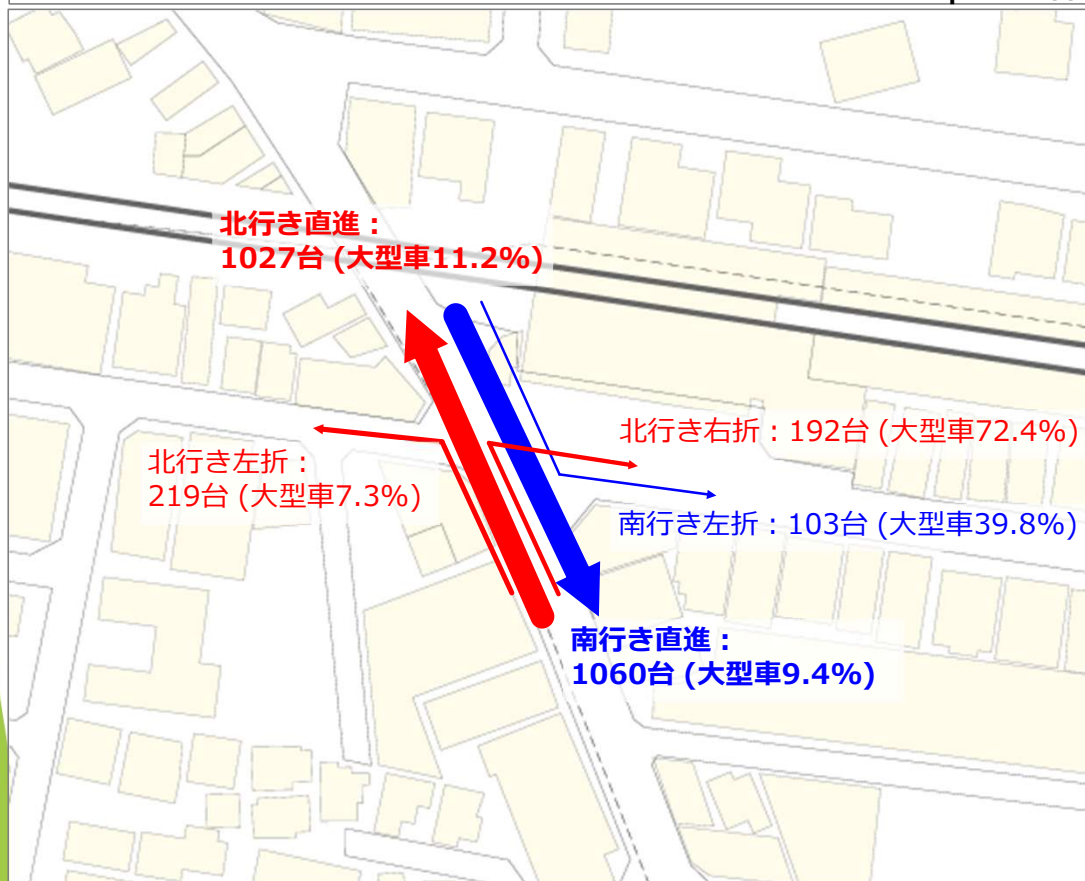
■ 令和3年度 交通量調査結果

調査日 令和4年(2022年) 1月31日 (月) 7:00~19:00、天候：晴れ

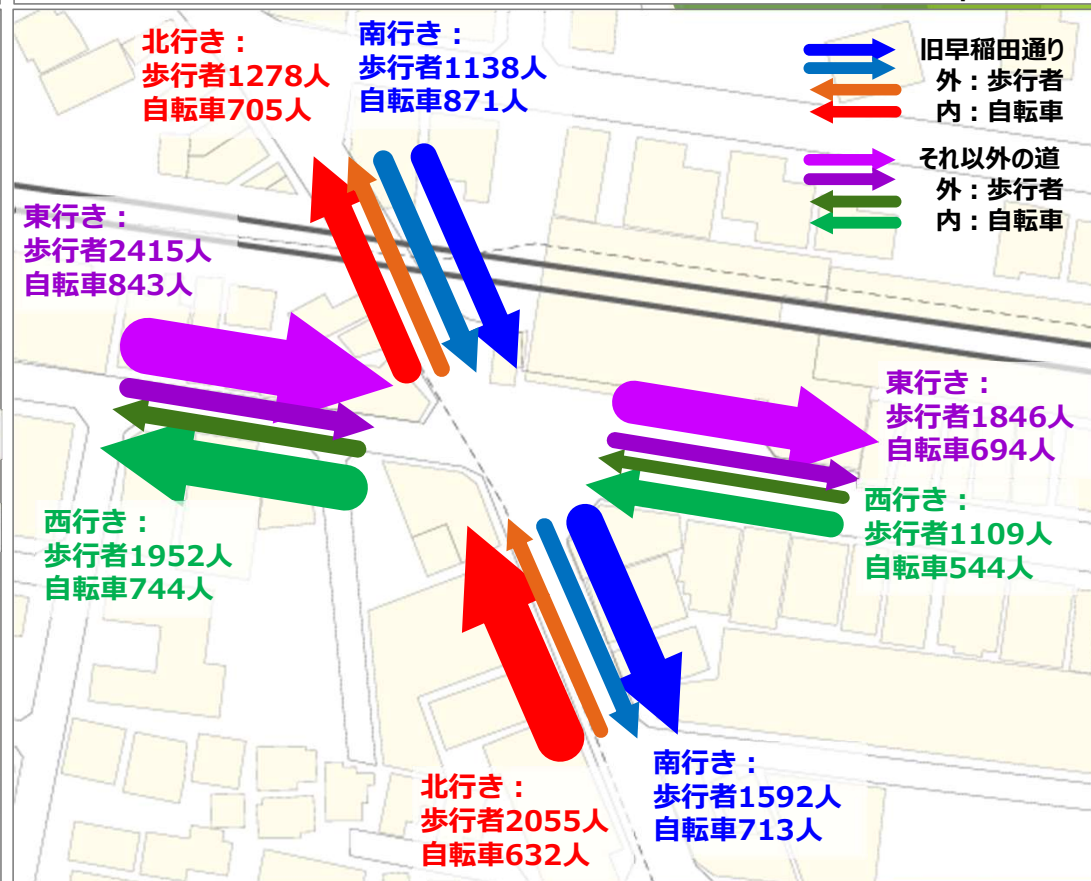


地点③下井草駅南口 (12時間連続)

■ 自動車の流れ (7:00~19:00、12時間連続) 線の太さ : 1pt=100台



■ 歩行者の流れ (7:00~19:00、12時間連続) 線の太さ : 1pt=100人

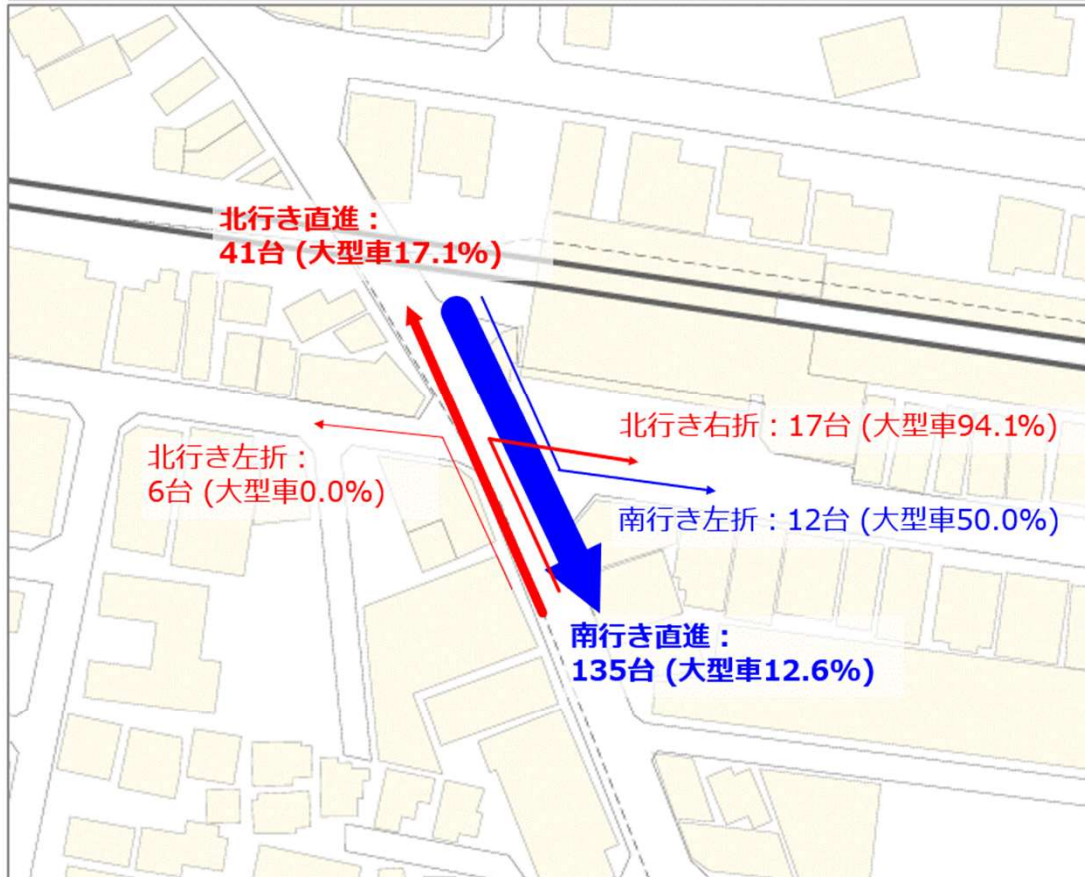


- 7:00~19:00の12時間での自動車・歩行者・自転車の流れを、矢印太さで見える化
- 自動車は ①南北方向に直進する流れが大半。 ②一日を通じた交通量は北行き・南行きで均等 ③商店街方向へ曲がるのは大型車＝バスが多い
- 歩行者・自転車は東西方向が多いが、旧早稲田通りもそれなりに多い (指数で表すと、商店街 : 100、西へ行く道 : 77、旧早稲田通り : 64、踏切横断 : 52)

地点③下井草駅南口 (7:00~8:00)

■ 自動車の流れ (7:00~8:00、1時間)

線の太さ : 1pt=10台



自動車の流れ

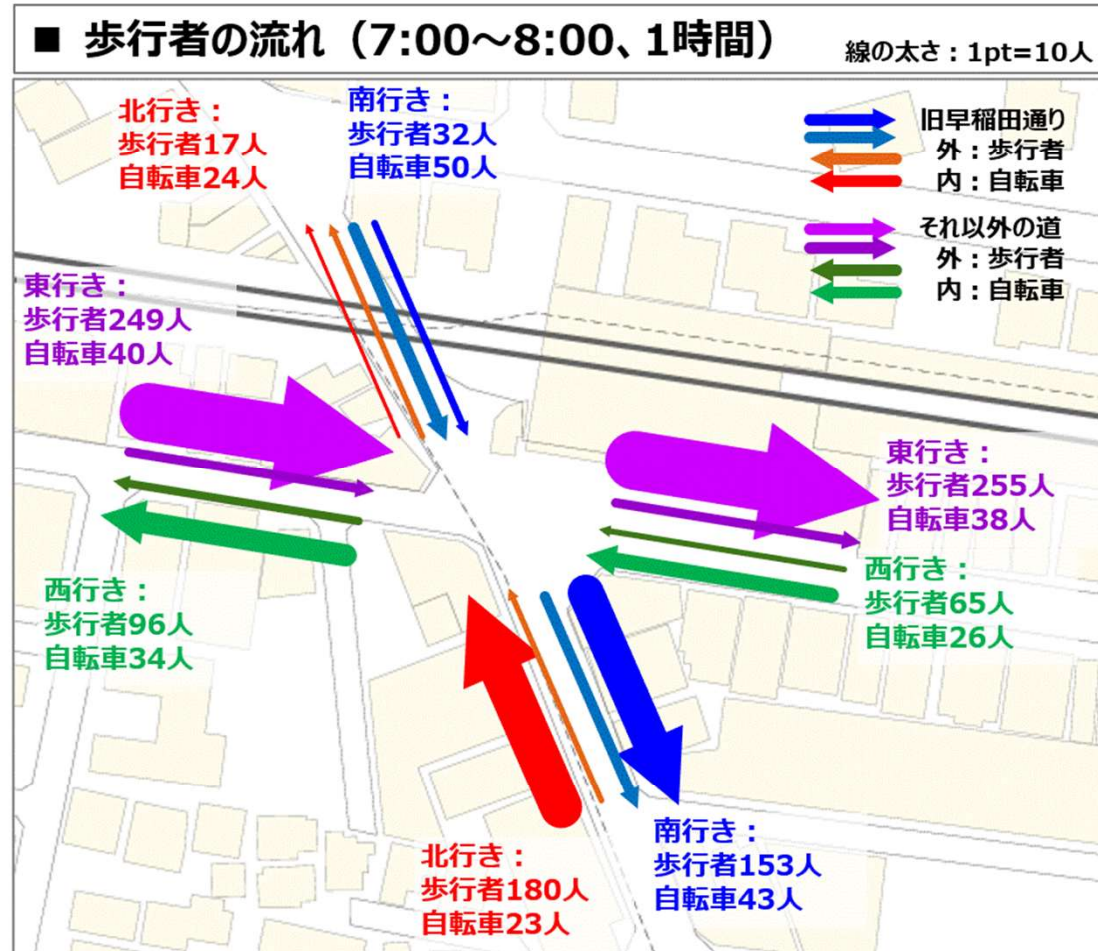
7:00~19:00まで、1時間毎

※2秒ごとにスクロールします

地点③下井草駅南口 (7:00～8:00)

歩行者の流れ

7:00～19:00まで、1時間毎
※2秒ごとにスクロールします



交通量調査資料を
広域視点で見ると？

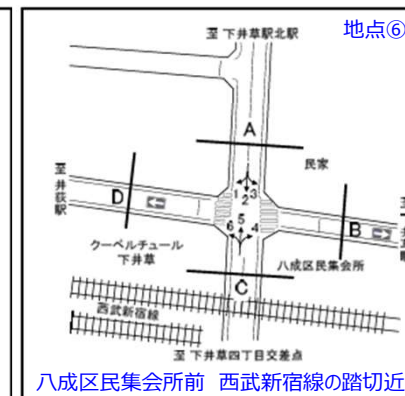
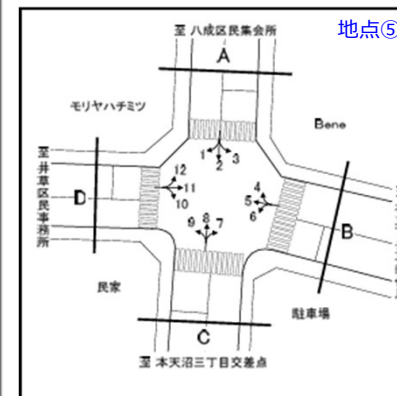
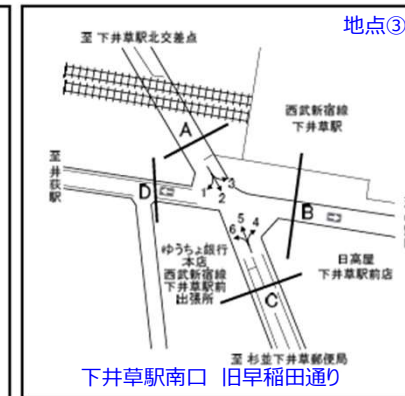
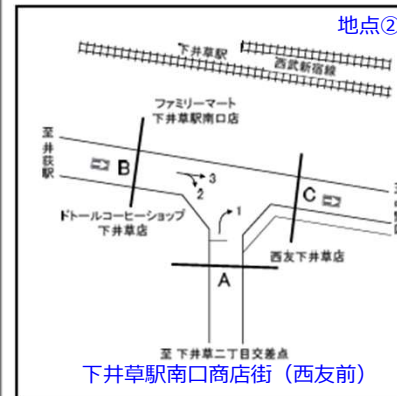
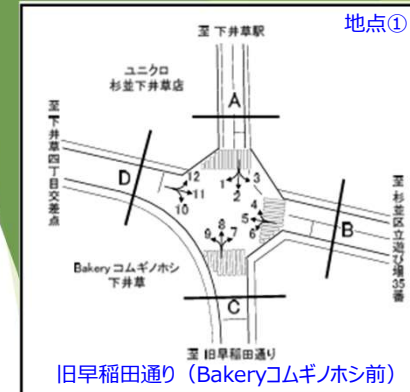
交通量調査資料を広域視点で見ると？

第3回・第4回サブラボの取り組み -2

- 下井草駅前を中心とする旧早稲田通りの交通の流れを更に読み解くため、広域視点で交通の流れを整理・把握してみる

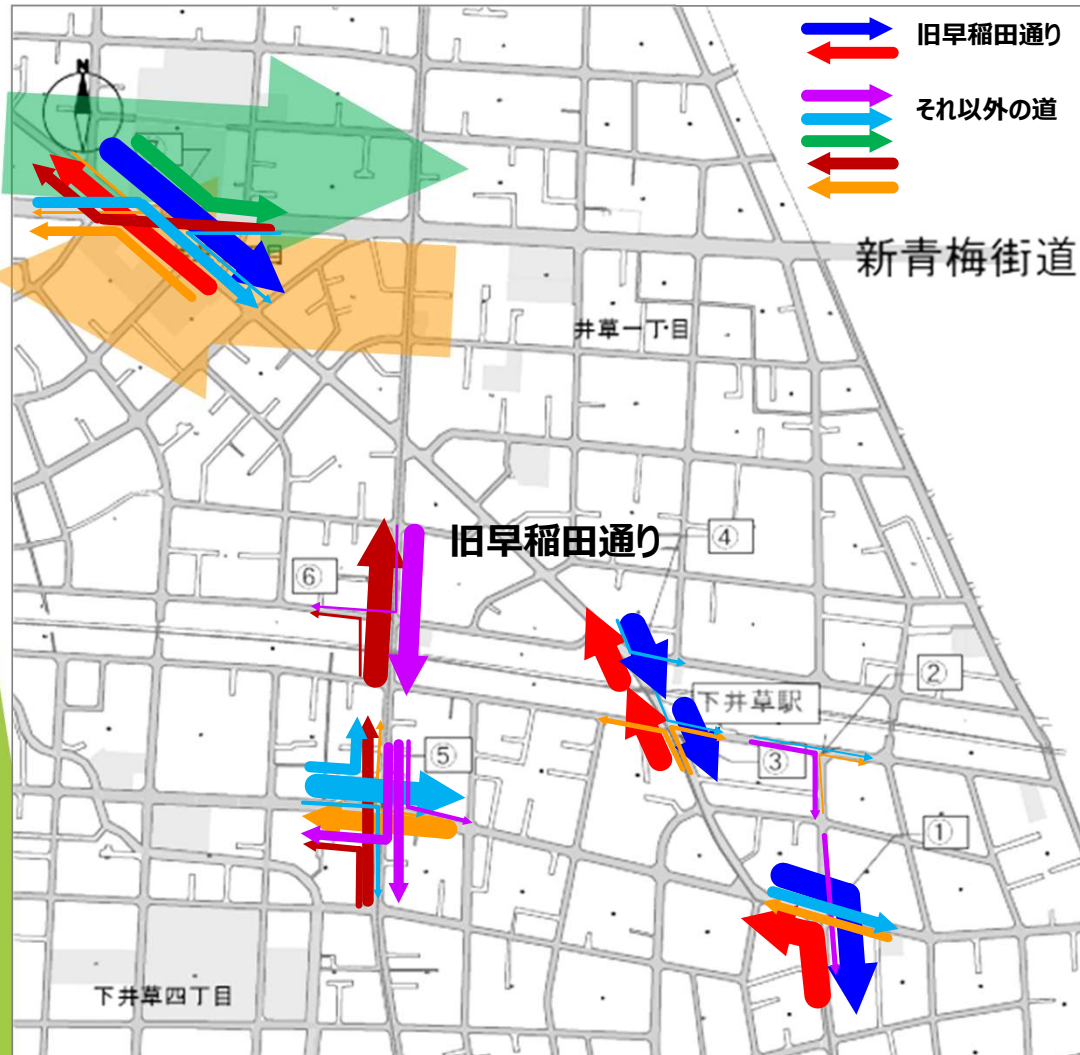
■ 令和3年度 交通量調査結果

調査日 令和4年(2022年)1月31日 (月)
7:00~19:00、天候：晴れ

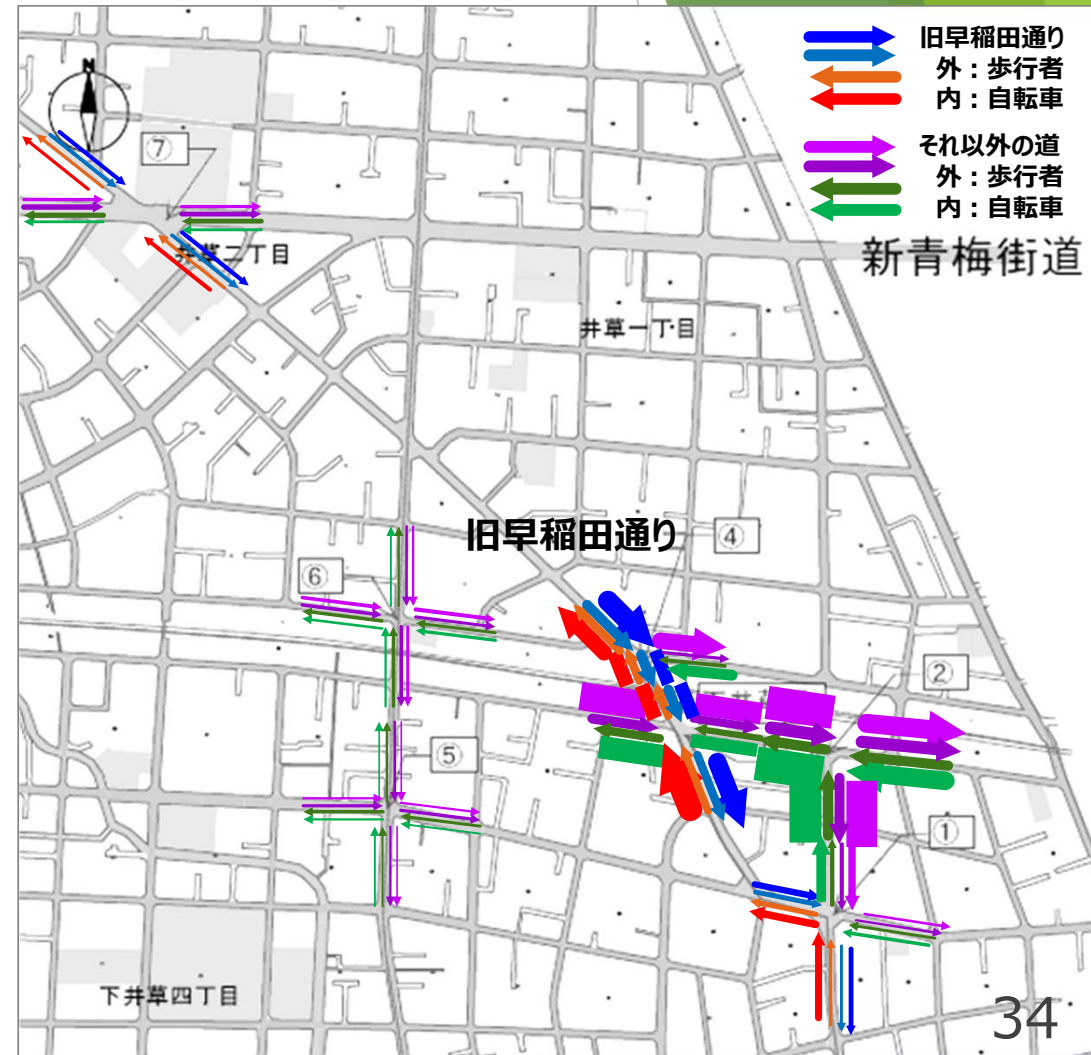


広域視点 (12時間連続)

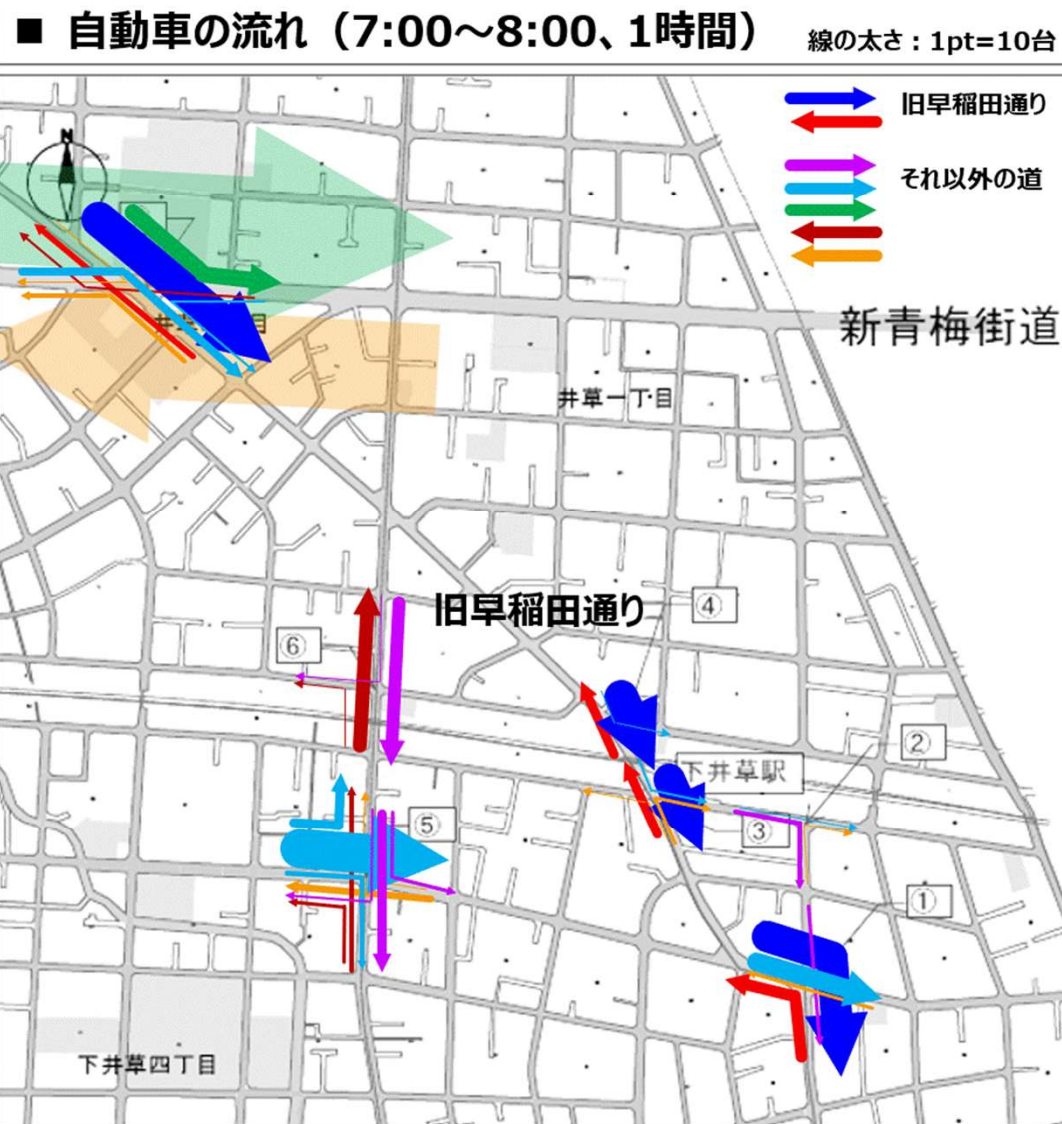
■ 自動車の流れ (7:00~19:00、12時間連続) 線の太さ: 1pt=100台



■ 歩行者の流れ (7:00~19:00、12時間連続) 線の太さ: 1pt=200人



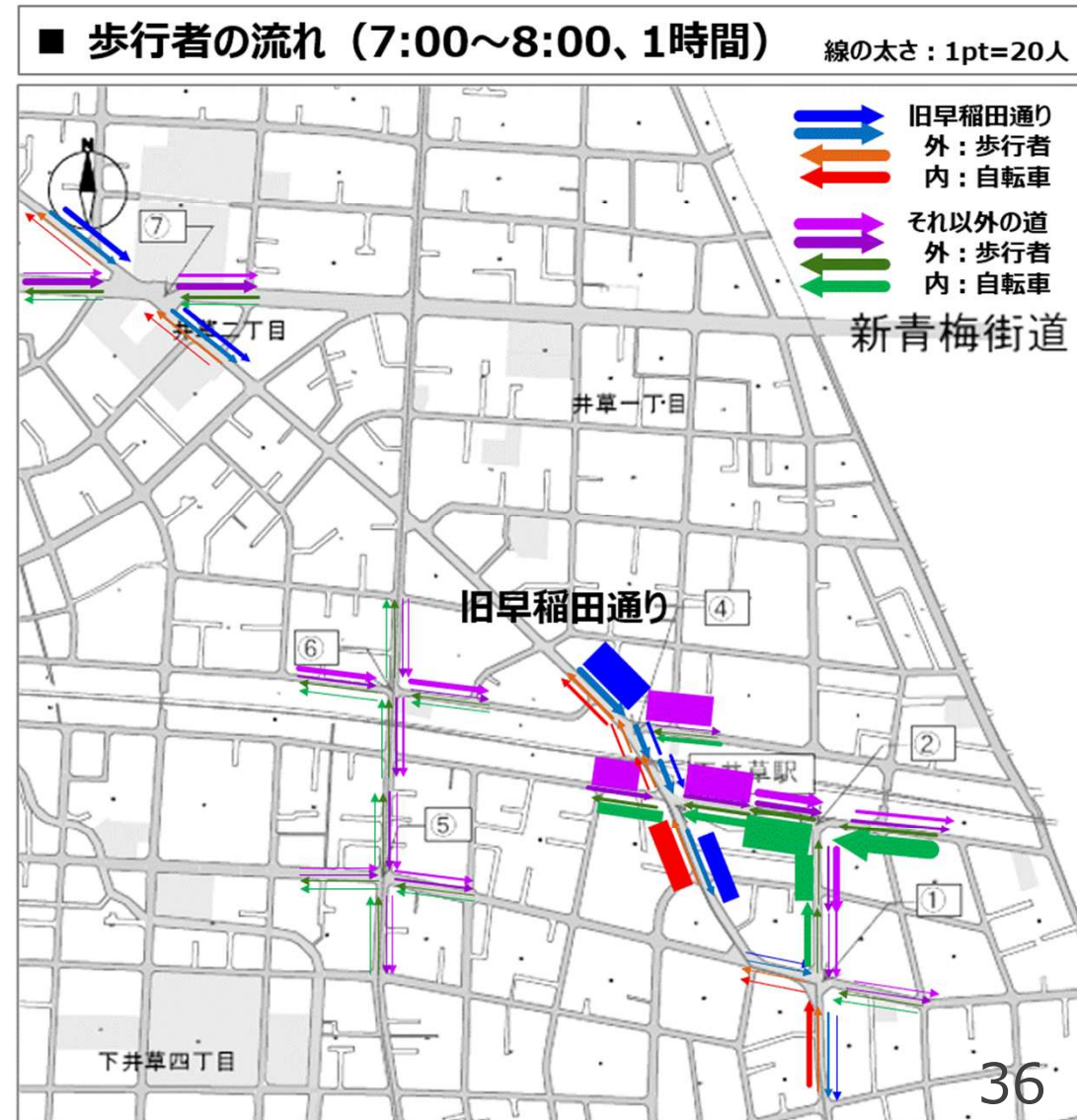
広域視点 (7:00~8:00)



広域視点での自動車の流れ
7:00~19:00まで、1時間毎
※2秒ごとにスクロールします

広域視点 (7:00~8:00)

広域視点での歩行者の流れ
7:00~19:00まで、1時間毎
※2秒ごとにスクロールします



旧早稲田通りの使われ方：交通量調査結果読み解きから（第5回サブラボ）

【自動車について】

1. 午前は南行き、午後は北行き方向に大きな流れがある
2. 旧早稲田通りは一般的な都道としては交通量は少ない方

※踏切待ち渋滞は、朝の南行き・夕方の北行きで発生。10台程度
※西武線ダイヤ乱れ時には、突如渋滞が発生することがある

【歩行者について】

1. 日中に複数のピーク時間帯がある

①午前 10:00～11:00 ②昼間 13:00～14:00 ③午後 15:00～16:00

■想定される使われ方： 買い物、昼食、通学、習い事

■朝夕の通勤通学時間帯がピークではない、地域内での日中の利用が多い

2. 旧早稲田通りは、南行き、北行き両方の人の流れがある

■ピーク時間帯には15～20秒に1人が通過

■1分間（60m～80m）進むごとに2～3人とすれ違い発生（計算上）

3. 歩行者・自転車は東西方向が多いが、旧早稲田通りもそれなりに多い

■指数： 商店街：100、西へ行く道：77、旧早稲田通り：64、踏切横断：52

4. 10時～17時の時間帯は移動制約者の比率が高い

高齢者や妊産婦・子連れの方が、平日昼間に街に出ている

旧早稲田通り 自動車の通過頻度（地点③下井草駅南口）
12時間平均 - 40秒に1台、ピーク時 - 25秒に1台（片道）

参考情報：新青梅街道の場合

12時間平均 - 8秒に1台、ピーク時 - 7秒に1台（片道）

歩行者・自転車の交通量（7:00～19:00、12時間連続）

・商店街：

東行き 歩行者 2,858人・自転車1,077台

西行き 歩行者 2,908人・自転車 886台

・西へ行く道：

東行き 歩行者 1,952人・自転車 744台

西行き 歩行者 2,415人・自転車 843台

・旧早稲田通り：

南行き 歩行者 1,592人・自転車 713台

北行き 歩行者 2,055人・自転車 632台

・踏切方向：

南行き 歩行者 1,138人・自転車 871台

北行き 歩行者 1,278人・自転車 705台

移動制約者とは：

・高齢者、障害者、妊産婦、子連れの人、荷物を持った人など

・時間帯によるバラつきが大きい、下井草南口駅前で

13:00～14:00の時間帯で見ると、複数方向の道路で

歩行者の3%～5%が移動制約者

※12時間連続平均では1～2%

旧早稲田通りの使われ方（平日の様子）

朝の様子：2025/11/12（木）8:00



- 南行きの車両の流れは、踏切が開いたタイミングのみ
- 人通りはあるが、日中より少ない

日中の様子：2026/3/9（月）13:55



- 車両の交通量は少ない
- 人通りは常にある

東西方向の道路の様子：2025/11/12（木）8:06



- 駅に向かう人の流れが絶えない
- 旧早稲田通りよりも人通りが多い

夕方の様子：2026/1/15（木）18:01



- 北行きの車両の交通量が多く、踏切待ち渋滞も見られる
- 電車が着いたタイミングで人通りが増える

旧早稲田通りの使われ方（土休日の様子）

朝の様子：2026/6/6（土） 8:34



- 車両の交通量は少ない
- 人通りは常にあり、駅へ向かう流れが主体

夕方の様子：2026/3/28（土） 17:03



- 車両の交通量は少ない
- 人通りは常にあり、平日より多い

日中の様子：2026/5/31（日） 11:51



- 車両の交通量は少ない
- 人通りは常にある

商店街の様子：2026/3/28（土） 17:03



- バス以外の車両の交通量がほぼない
- 人通りはかなり多い（旧早稲田通りの2倍程度）

旧早稲田通りの使われ方：休日の使われ方イメージ

【自動車について】

1. 南行き、北行き ともに交通量は少ない

※踏切待ち渋滞はほぼ発生しない

・土日の交通量調査データがないため、サブメンバーの観察による主観

【歩行者について】

1. 朝 (7:00～10:00) 駅へ向かう流れが主体

■ 地域内を目的地とする買い物などの流れは少ない

2. 午前中 (10:00～12:00) 買い物など、地域内の流れが加わる

■ 駅へ向かう流れと、地域内を回遊する流れが複合

3. 昼間 (12:00～15:00) 買い物など、地域内の流れが主体

4. 午後 (15:00～17:00) 買い物など、地域内の流れが活発

■ この時間帯が人通りが一番多い

5. 夕方 (17:00～19:00) 買い物など地域内の流れ + 駅から出る流れ

■ 平日と比べても、人通りの多さは遜色ない

昼間～午後～夕方に掛けてが 人通りのピーク時間帯

■ 想定される使われ方：

買い物、昼食、習い事

■ 午前中の「お出掛け時間帯」が
ピークではない

■ 地域内での日中の利用が多いと考えられる

余談：一番街の使われ方（土曜日夕方の場合）

2026/3/28 (土) 17:07撮影



2026/3/28 (土) 17:07撮影



- ・営業中のお店が3軒しかなく、土曜日夕方にも関わらず人通りは疎ら
 - 街のにぎわい・回遊性を考えると、残念な状況
 - 次回以降の「まちづくりラボ」で話し合いしましょう

交通量調査箇所図



どうやったら、
歩きやすい旧早稲田通りになるか
(第5回・第6回サブラボ)

この道は歩きやすいですか？ 旧早稲田通りの現状 ①

旧早稲田通り 下井草駅南口付近 2026/3/28 (土) 17:03



この道は歩きやすいですか？ 旧早稲田通りの現状 ②

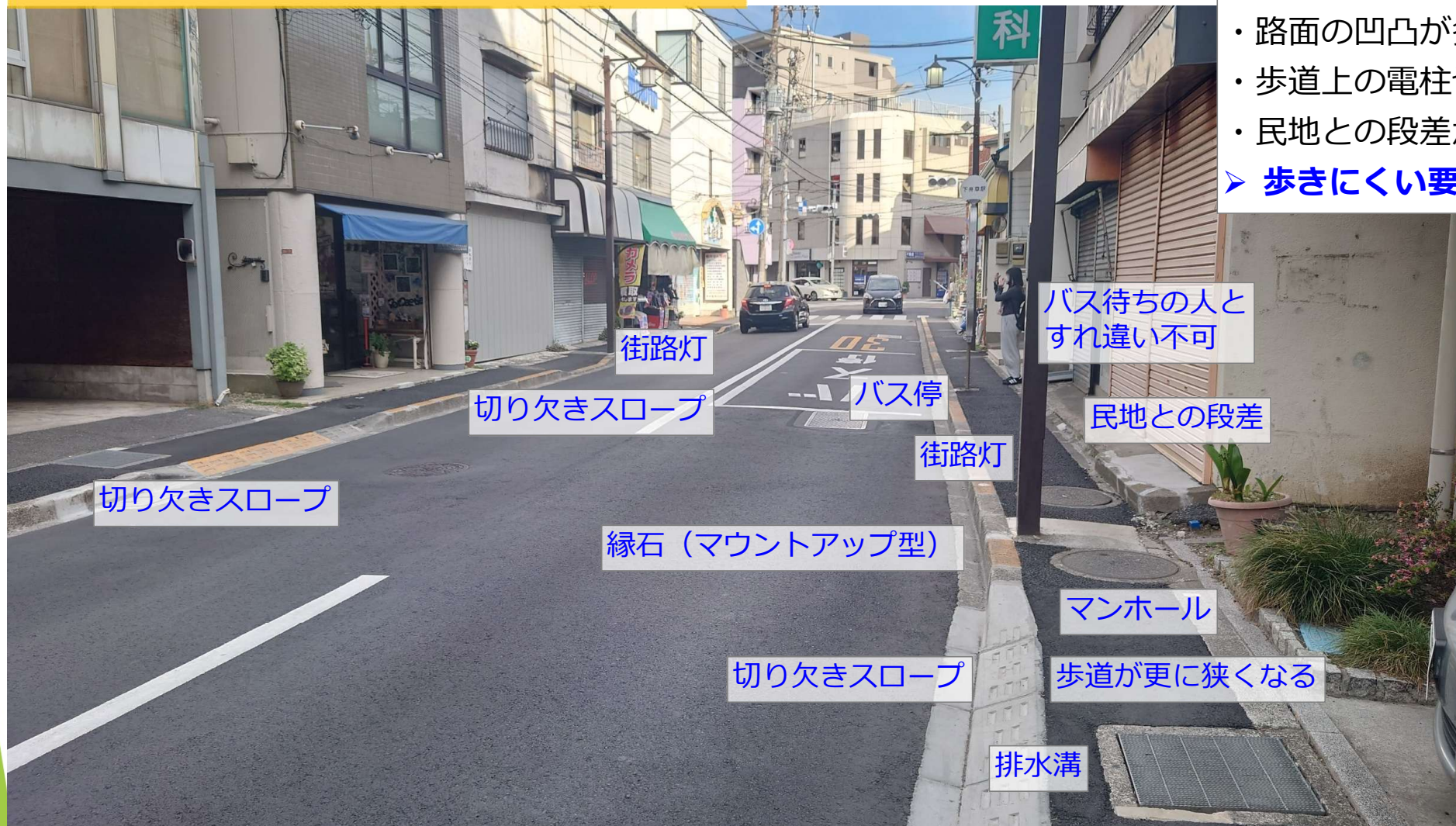
旧早稲田通り 下井草駅南口付近 2026/3/28 (土) 17:03



この道は歩きやすいですか？ 旧早稲田通りの現状 ③

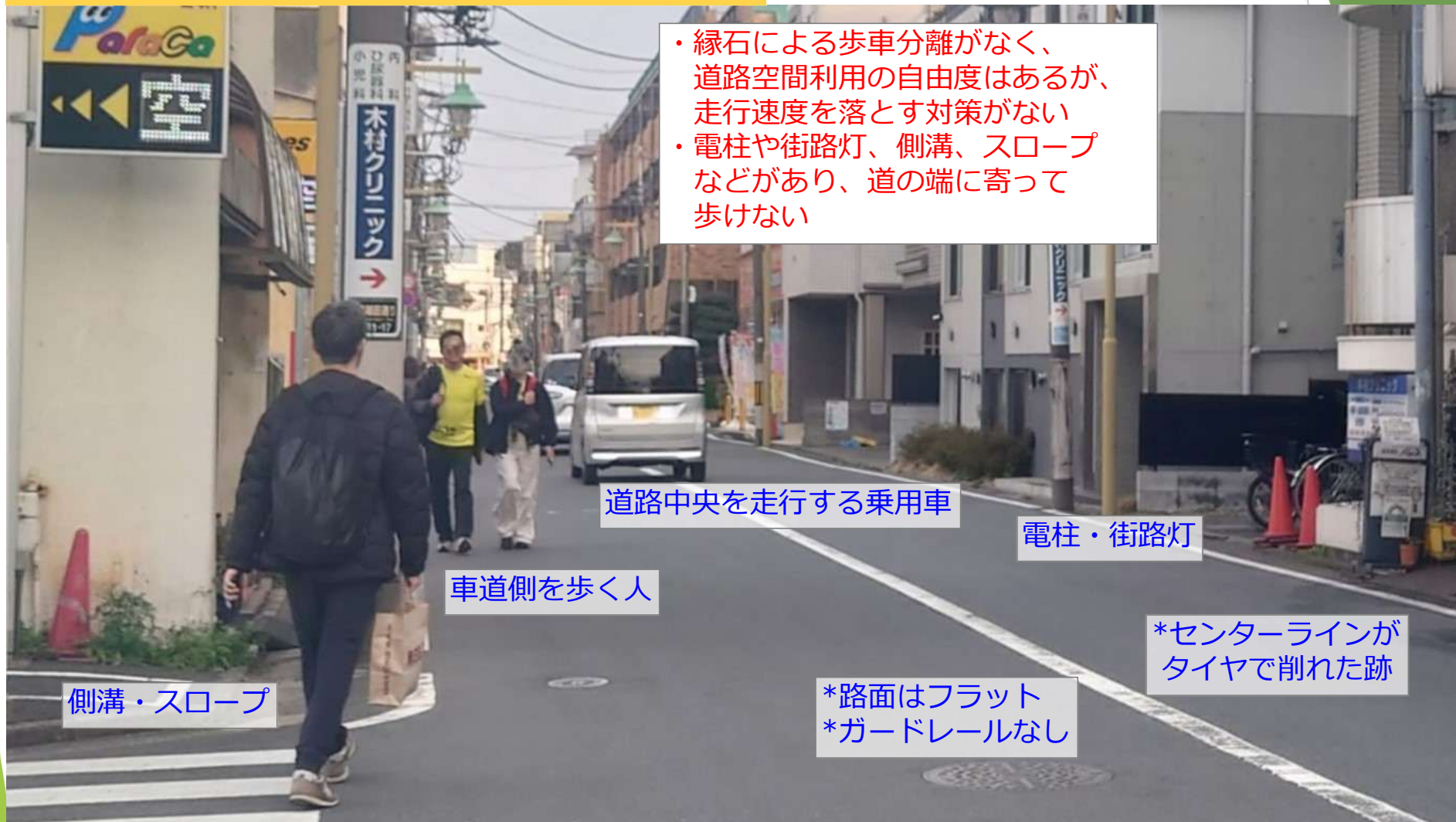
旧早稲田通り 下井草駅バス停付近 2026/5/31 (日) 16:31

- ・ 車道と歩道の大きな段差
 - ・ 切り欠き部の急なスロープ
 - ・ 路面の凹凸が多い
 - ・ 歩道上の電柱や街路灯
 - ・ 民地との段差が大きい
- **歩きにくい要素が多い**



この道は歩きやすいですか？ 旧早稲田通りの現状 ④ 北口側の状況

旧早稲田通り 井草一丁目バス停付近 2026/3/28 (土) 16:54



歩車分離 : 車道と歩道が物理的に分けられている例 (新青梅街道)

新青梅街道の事例 : 2026/1/12 (祝) 13:29



メリット : 通過する車両から歩行者が守られている

- 交通量が多い、通過速度が高い道路でも安全に歩ける

デメリット : 商店などに出入りする人の往来が遮断される

- 商店街や生活道路では、歩行者に不便な設計

歩車分離の例 :

新青梅街道 (八成小学校西付近)

- 北側にコープ杉並井草店
- 南側に東京靴流通センター
⇒商店街ではないが、店舗はある
- 歩道との大きな段差あり
(マウントアップ型)
- 横断防止柵を設置
- 植え込みと街路樹あり
- 車両は速度を落とさずに走行

歩車分離の構造物の例①

新青梅街道の事例：井草二丁目交差点付近 2026/1/12 (祝) 13:22



歩車分離の構造物の例②

旧早稲田通りの事例：八成小学校バス停付近 2026/1/12 (祝) 13:20



歩車分離の構造物の例③

旧早稲田通りの事例：下井草駅北交差点付近 2026/3/28 (土) 16:52



歩車分離の構造物の例④

旧早稲田通りの事例：下井草駅南口付近 2026/3/28 (土) 17:03



- ・縁石による緩やかな分離
車は歩道に乗り上げて来ない
歩行者は車道に出られる

縁石（マウントアップ型）

歩車融合の例 : 車道と歩道を物理的に隔てる物がない

下井草駅南口商店街の事例 : 2026/3/28 (土) 17:01



歩車融合の例 : 下井草駅南口商店街

- ・ ガードレールなし
- ・ カラー歩道で歩行者エリアと車道エリアを色分け
- ・ 民地との段差は大きい
- ・ 車両は速度を落として走行

メリット : 商店などに出入りしやすい

- 歩行者の通行スペースの考え方が柔軟。商店街や生活道路に向けた設計

デメリット : 通過車両が多いと危険

- 速度を落とし、通過車両を減らす対策は可能か？

歩行者ゾーンを分ける構造物の例 下井草駅付近①

旧早稲田通りの事例：井草一丁目域内 2026/3/28 (土) 16:56



歩行者ゾーンを分ける構造物の例 下井草駅付近②

西友下井草店前の道 2026/3/28 (土) 17:06

- ・ 歩道と車道の出入りはある程度自由
- ・ 車両は歩道部分に進入しない



下井草駅南口商店街 2026/3/28 (土) 17:04

- ・ カラー歩道により歩行者ゾーン示す
- ・ 車両が通らない時は車道も歩ける



歩車分離？歩車融合？ 微妙な状況の事例

西友下井草店の横の道 2026/3/28 (土) 17:05

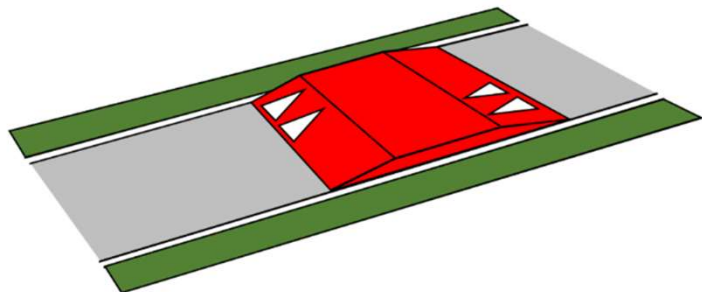
- ・道路の左右でコンセプトが異なる
- ・歩行者の半数は車道に出ている



生活道路の走行速度を落とさせる工夫の例

出典：
<https://keitank.com/reduced-speed-on-community-roads/>
https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/regulation_wg/kisei_wg/02/siryou4.pdf
https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/life_road/pdf01/8.pdf

✓ 凸部（ハンプ）



【ハンプの設置事例】



滋賀県 栗東市

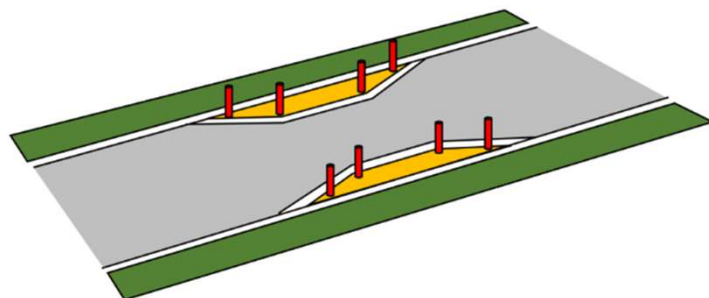


岐阜県 岐阜市

旧早稲田通りに適用する場合の課題点：

- バスの走行を支障する恐れ
- バス車内の安全性確保
- 設置にはバス会社との協議が必要

✓ 狭窄部



【狭さくの設定事例】



東京都 文京区

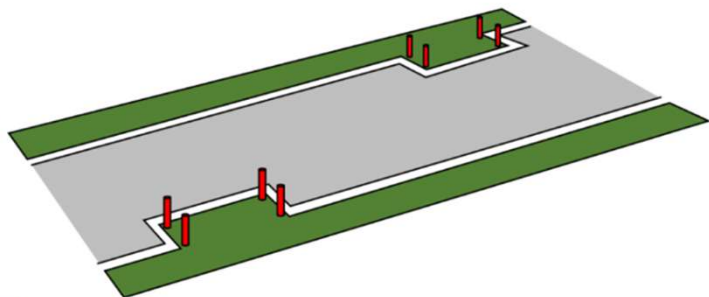


片側狭窄



交互狭窄

✓ 屈曲部（シケイン）



【シケインの設置事例】



東京都 杉並区



クランク



スラローム

さまざまな事例 ①

北区赤羽西四丁目 弁天通り 2026/5/31 (日) 14:46



さまざまな事例 ②

中野区野方五丁目 野方駅バスターミナル付近 2026/5/31 (日) 15:41



・狭い通りにバスが進入するため、オレンジボラードの列で歩行ゾーンを確保

歩行ゾーンを確保

バスが通れる幅

オレンジボラードの列

電柱は民地に寄っている



車が来ない時は車道側にはみ出ることも出来る

さまざまな事例 ③

島根県出雲市 神門通り 出雲大社付近 2025/4/27 (日) 9:48



- ・ 2車線道路全体を石畳風のカラー舗装化
- ・ センターラインなし
- ・ 歩行ゾーンとの境目は敷石のパターン

留意点：
カラー歩道は工事後の復元に
アスファルト舗装材が使えない。
沿線住民が、将来の負担に対して了
解していることが必要

出典： https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/toshi/kan/izumo_kendo/shinmon1.html



旧早稲田通りに関するサブラボ まとめ

どうやったら、歩きやすい旧早稲田通りになるか（第5回・第6回サブラボ）

■旧早稲田通りの使われ方と交通量の現状

- 旧早稲田通りは、クルマが多いからではなく、歩道が狭いから歩きにくい

■どうやったら、歩きやすい旧早稲田通りになるか

- 歩道と車道をフラットにして段差をなくす
- 歩道上の電柱もなくしないと中途半端
- 民地の床面と歩道の高さとの整合も大事

■「歩車分離」か、「歩車融合」か

- 「歩道を拡げる」は「**歩車分離**」の考え方
 - 地方主要道の位置づけ（＝都道25号 飯田橋石神井新座線）
- 交通量が多くない現状では「**歩車融合**」でもよいのでは？
 - 生活道路として位置づけを再定義
 - 路面をフラットにしつつ、クルマの速度を上げさせない方法は？
 - **駅北口側も含めて**トータルで考えたい
 - **鉄道立体交差化後**を見据える
（踏切がなくなることで、交通量が増える・車両の速度が上がる恐れあり）

キーフレーズ

- 歩きやすい ＝ フラットな路面
- 歩道幅だけでなく、電柱や民地の床高さも含めたデザイン
- 歩車分離か、歩車融合か

本ラボへのフィードバック

- 「歩きやすさ」にも色々な方法がある
- 幅広く意見を吸い上げられるよう、本ラボにてディスカッションしたい**

最後に： サブラボに参加してみませんか？

- 旧早稲田通りサブラボは本日の報告と、本ラボでのディスカッションを経て、より具体的な取り組みについて話し合う、次のフェーズに入ります。
- サブラボでは本ラボから独立して議論を進め、その内容を本ラボに共有、地域の皆さんで、まちの将来像に向けた取り組みや方向性を定めて行きます
- 週末の午前中に2時間程度、日程は参加の皆様の都合に合わせて調整します
- 自由に幅広い意見を交換できる場として、ぜひ参加してみてください

ご清聴ありがとうございました

4

歩きやすい旧早稲田通りを考える (グループワーク)

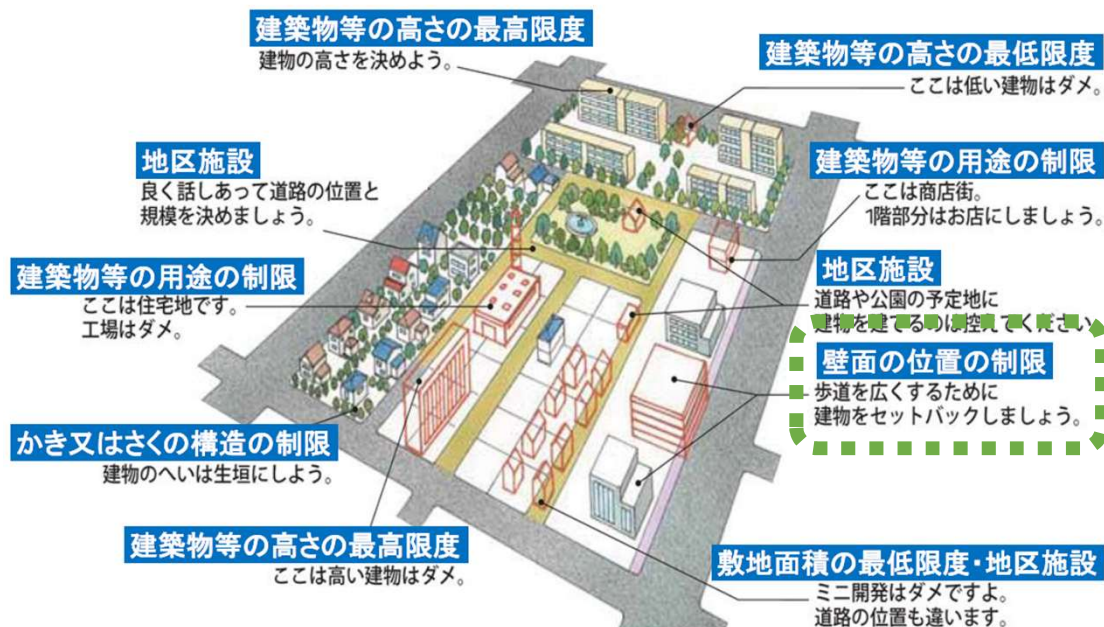


まちづくりを実現する手法のひとつ

地区計画とは、都市計画法による制度で、目指すべきまちの将来像を実現するため、地区の特性に応じた道路の位置や建物の建て方等のルールを都市計画にきめ細かく定めるものです。

建て替えなどの際、定めたルールに合わせた計画とすることで、まちづくり計画の実現を図っていきます。

● 地区整備計画による主なルールのイメージ図



出典：国土交通省ホームページ

地区計画制度について

練馬区：江古田北部地区（武蔵野音楽大学周辺）



歩行者空間の確保2.6m (歩道状空地1.1m+歩道1.5m) 65

グループワークのポイント

年齢や立場、
専門性に関係なく
互いの意見を
尊重しよう！

話しやすい雰囲気
をつくろう！

自分と違う視点って
アイデアを広げる
チャンス！

まずは量！
思いついたことは
どんどん出そう



みんなに
伝わる形に
まとめよう

グループワークの進め方 1

1 付箋紙に「アイデア」と「汗をかく人」を書き出す

歩道の凸凹をなくす ← 「アイデア」

住民：チェック
行政：施工 ← 「汗をかくのは誰？」

① ← 「場所の番号を記入」

②

③

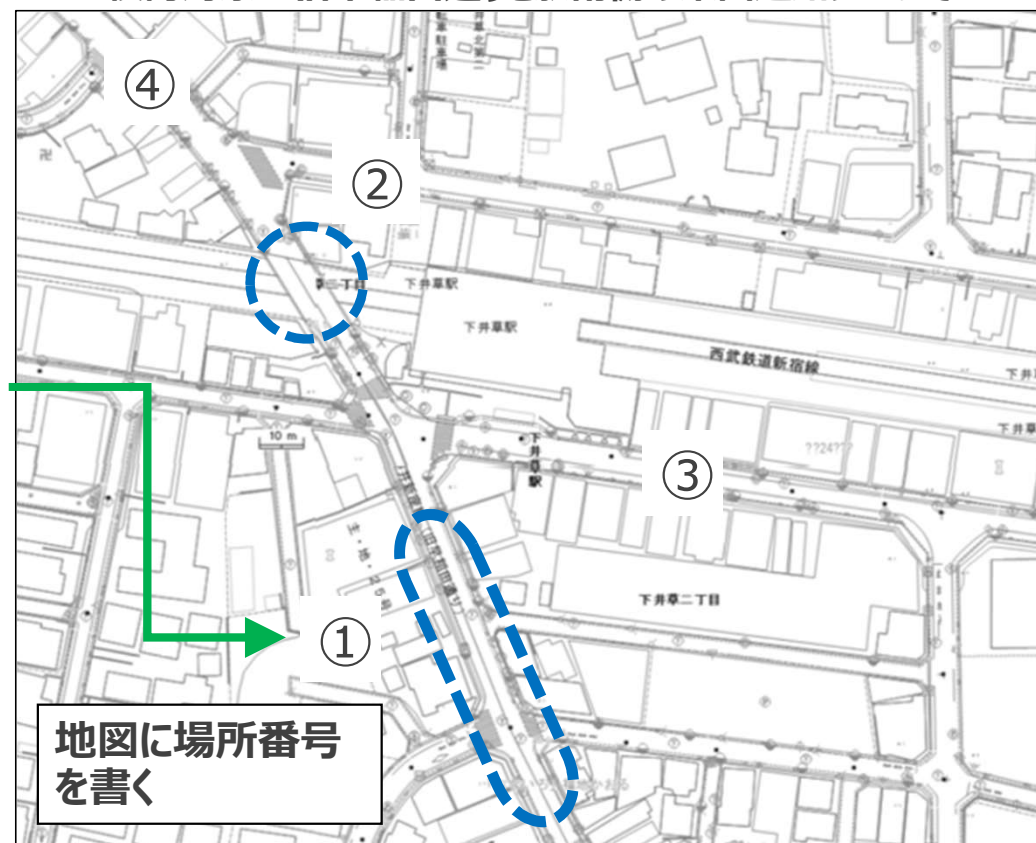
③

④

主体の例

・住民
・行政
・商店
・協同 など

検討対象：旧早稲田通りと駅南側の東西道路について



グループワークの進め方 2

2 アイデアを表に整理する

短期的（～5年未満） すぐに試せそうなもの	中期的（5年～10年） 調整や整備が必要	長期的（10年～20年） 大きな変更・制度が必要
アイデア ① アイデア ② アイデア ⑦	アイデア ③ アイデア ⑤	アイデア ④ アイデア ⑥
アイデアを実現のスパンで整理する		
期待できる効果 ・子どもたちにとって幸せ ・高齢者にとって幸せ	期待できる効果 ・親子連れの幸せ ・車いす利用者の幸せ	期待できる効果 ・みんなにとって幸せ
誰がどのように幸せになるのか、考えてみる		

成果の共有の進め方

- 1 グループの成果を発表します
- 2 来訪者は、「実現したいアイデア」にシールを貼ります



メンバーは交代で発表、持ち時間は1ラウンド4分

5

グループワーク成果発表



グループワークの成果発表

発表は回遊方式



・チームの説明担当の役割

1

説明する順番を決めてください

- ・全部で7ラウンドを予定しています、一人1回解説を担当してください
- ・一人1回解説後、人数が少ない班は、ファシリテーターが残りの解説を担当します

2

【第1ラウンド】～【第7ラウンド】 各ラウンド4分程度で交代！

- ・1ラウンド4分です。(各ラウンド=説明3分+質疑応答1分)

・回遊してプレゼンを聞くみなさんの動き

3

1ラウンドごと、時計回りに隣の班へ移動して、プレゼンを聞いてください

- ①各班の解説を聞いてください
- ②アイデアや意見、質問をお聞かせください
- ③解説を聞いて、実現したいアイデアの付箋にシールを貼ってください
- ④7ラウンドで各班の発表を一周します

6

次回のスケジュール



次回は・・・

第12回 （仮称）下井草まちづくりラボ

令和8年9月19日（土曜日） 午前9時～12時

桃井第五小学校体育館

【下井草駅周辺の商業やにぎわいについて①】

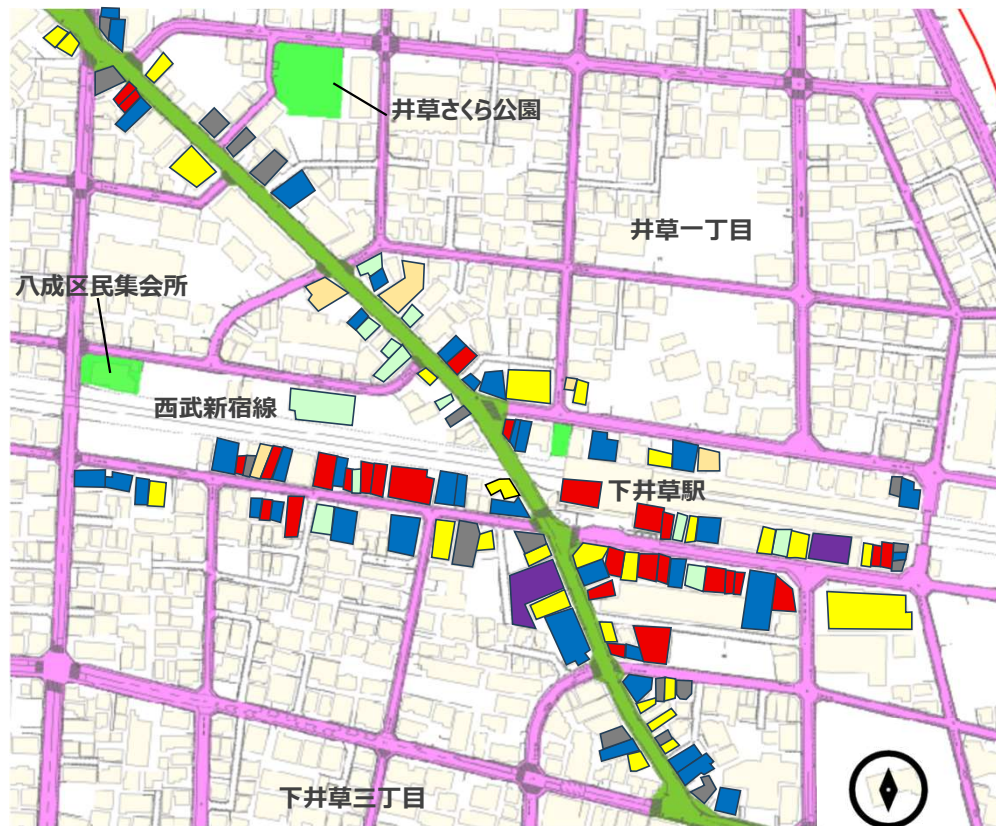
本日は「歩きやすさ（安全）」について考えました
では、「**人が集まるまち**」にするには？



データからみる下井草の変化と「まちのにぎわい」

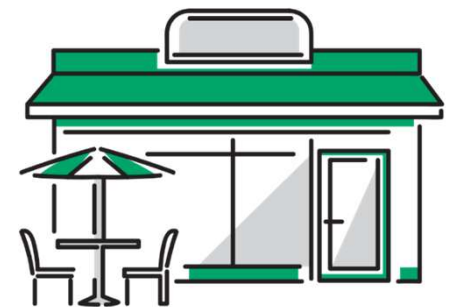
下井草駅周辺の店舗の実態調査

調査日 令和8年（2026年）6月8日（月）13時頃



- 飲食店【28軒】
- 物販【27軒】
- 医療・健康・ケア（病院、薬局、美容室など）【39軒】
- 生活基盤サービス（クリーニング、不動産など）【9軒】
- 教育（塾、保育園など）【4軒】
- 金融【2軒】
- 閉業【17軒】

調査軒数【126軒】

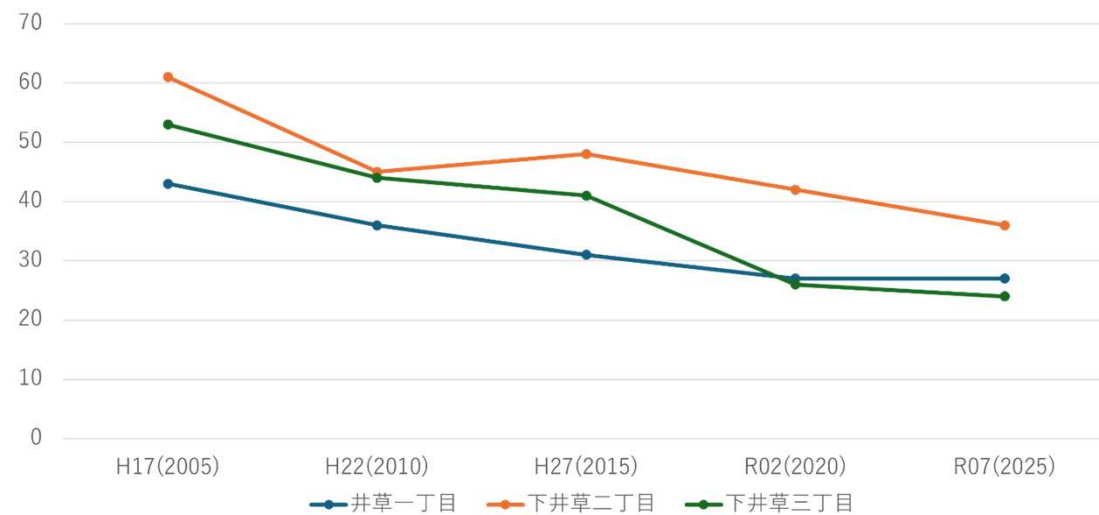


※区職員による目視調査のため、現況と一致しない可能性があります
※旧早稲田通り沿い及び駅南側の商店街を調査対象としています

データからみる下井草の変化と「まちのにぎわい」

卸売り・小売り業 事業所数の推移

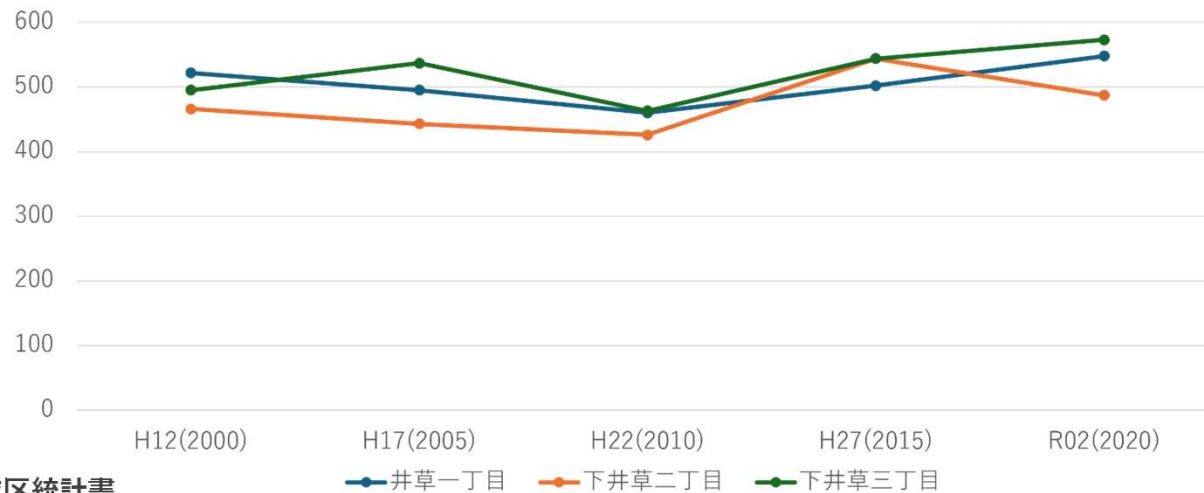
	H17年 (2005)	H22年 (2010)	H27年 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)
井草一丁目	43	36	31	27	27
下井草二丁目	61	45	48	42	36
下井草三丁目	53	44	41	26	24



データからみる下井草の変化と「まちのにぎわい」

夫婦と子供から成る世帯数

	H12年 (2000)	H17年 (2005)	H22年 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)
井草一丁目	522	495	460	502	548
下井草二丁目	466	443	426	544	487
下井草三丁目	495	537	463	544	573
杉並区全体（参考）	56.563	55.349	49.509	59.843	61.615

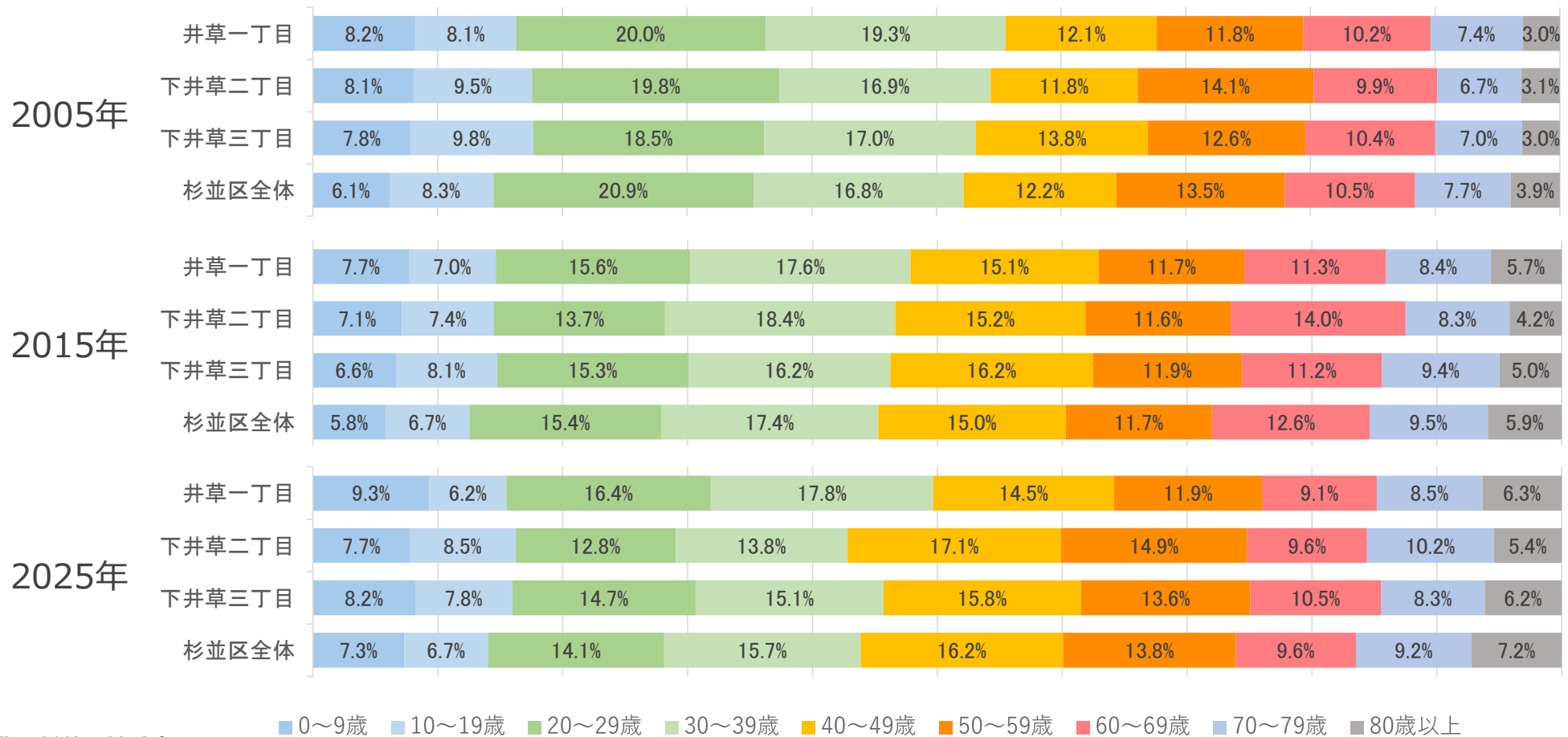


出典：杉並区統計書



データからみる下井草の変化と「まちのにぎわい」

井草地域と杉並区全体の年齢構成の比較

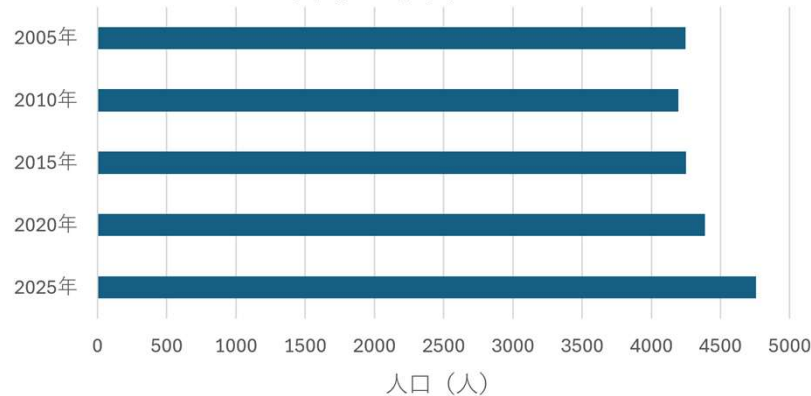


出典：杉並区統計書

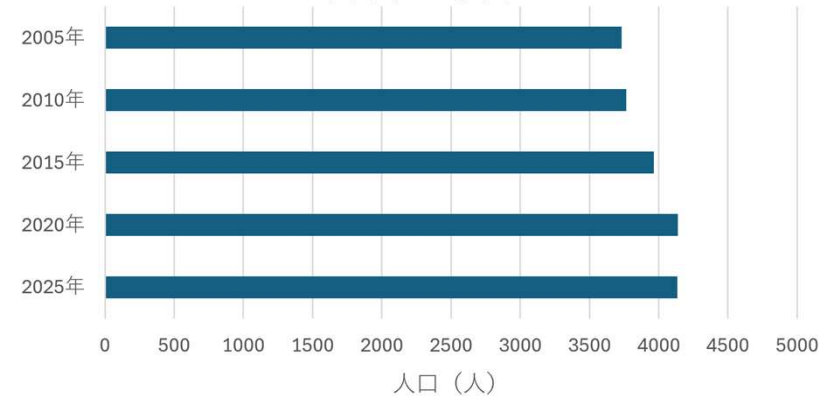
データからみる下井草の変化と「まちのにぎわい」

井草地域と杉並区全体の人口の推移

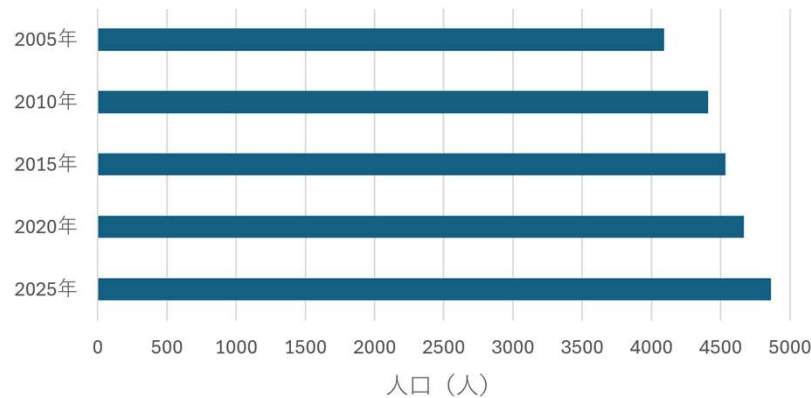
井草一丁目



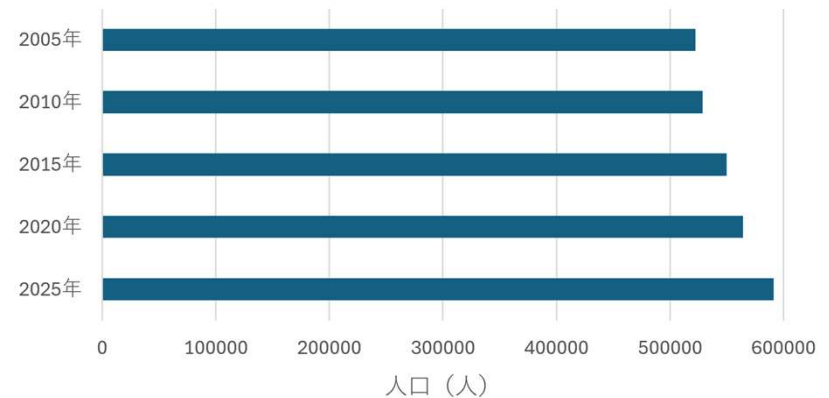
下井草二丁目



下井草三丁目



杉並区全体



出典：杉並区統計書

7

区からのお知らせ



区からのお知らせ

1 八成小学校出前授業の「発表会」を見学しませんか？

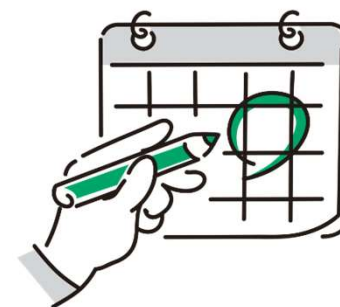
➡ 7月15日（水曜日）9時25分～12時頃（予定）八成小体育館
小学6年生による「10年後のまちをデザインしよう」をテーマにした発表会です

2 次回ラボでの手話通訳・託児サービスのご案内

➡ご希望の方は8月31日（月曜日）までにお知らせください

3 （仮称）下井草まちづくりラボ分科会に参加、立上げをしませんか？

➡本日、発表いただいた「サブラボ」への参加や
新たなテーマで議論や活動を始めませんか？



いずれも本日のアンケートでのご回答もしくは、区へご連絡をお願いいたします

7

閉会



長時間 お疲れさまでした

お配りしたアンケートのご協力をお願いします
アンケートの記入が終わった方は
お帰りの際に区職員へ提出をお願いします
後日提出される方は、二次元コードまたはFAXにて
提出をお願いします（6月22日（月）まで）

